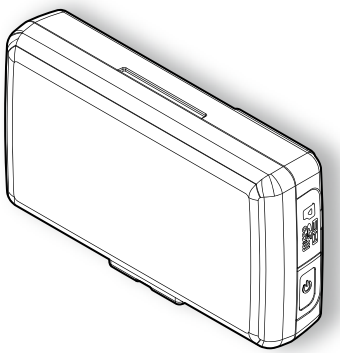
GPS 搭載液晶表示レーダー探知機　　取扱説明書

MOTO GPS RADAR LCD



この度は MOTO GPS RADAR LCD をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを 2 秒程度、長めに押すことを示しています。
	GPS を受信している場合に対応する内容を説明しています。
OP	別途オプションが必要なことを示しています。

各種設定操作は、【設定操作】（⇒ P44）を参照して下さい。

本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。

COMTEC DAYTONA

目次

目次 …… 2

ご使用上の注意 …… 3
知っておきたいこと …… 5

各部の名称 …… 7
梱包内容 …… 7
レーダー本体 …… 8

ご使用の前に …… 10
家庭用電源で充電する …… 10
車両で充電する …… 11

取付方法 …… 12
バイクに取付ける …… 12
レーダー本体をポケットに入れて使用する …… 14
ヘルメットスピーカーを使用する… 14
クルマに取付ける …… 15
別売オプションおよび補修品 …… 18

基本操作 …… 19
電源を ON にする …… 19
電源を OFF にする…… 20
内蔵バッテリーで使用する …… 20
充電状態を確認する …… 21
バッテリーチェックアナウンス … 21
ディスプレイ表示 …… 22
音量を調整する …… 25

便利な機能 …… 26
ワイヤレスヘッドセットと接続する …… 26
待機画面の液晶表示パターンを切替える …… 28
待機画面の表示内容を選ぶ …… 29
ドライブ info 機能…… 30
パワーチェック info 機能…… 31
ユーザーポイントを登録する …… 32
警報をキャンセルする …… 33
走行エリアを選ぶ …… 37
GPS データを更新する…… 38
レーダー本体をアップデートする… 39
現在位置をマップコードで表示する … 41
おまかせ設定 …… 42

設定操作 …… 44
設定方法 …… 44
設定内容一覧 …… 45

設定項目 …… 49
機能設定 …… 49
GPS 設定…… 61
無線設定 …… 74

付録 …… 82
取締りの種類と方法 …… 82
初期状態に戻す（オールリセット）…… 85
ディスプレイモード（販売店向け機能）…… 86
マップコードについて …… 87
故障かな？と思ったら …… 88
製品仕様 …… 89

さくいん …… 90

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の２つに分けています。

⚠ 警告　警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意　注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告
●本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
●運転者は走行中に本製品を絶対に注視したり、操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
●本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、クルマのエアバッグ等や、バイクのハンドルスイッチ等の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
●本製品を高温の場所で使用・充電しないでください。また、長時間高温・直射日光にさらされる場所への設置は避けてください。その場合は、取外して保管してください。
●USB シガープラグコードは、必ず付属の物を車両シガーソケットに差し込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。
●バイクのハンドルストッパー等にケーブル類を挟み込まないように配線してください。

⚠ 注意
●本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（ただし、内蔵バッテリー、面ファスナー等の消耗品は保証の対象となりません）
●本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
●GPS 衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
●本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。

ご使用上の注意

⚠ 注意

●車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）していると、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS 受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。

●本製品は IPX7 相当の防水設計となっていますが、激しい雨や洗車時には本体を取外してください。
※ イヤホンジャックおよび USB 電源ジャック、microSD カードスロットのカバーを閉じた状態での防水設計になります。雨天走行時等では必ず各カバーを閉じた状態で使用してください。

●本製品を雨の日や湿気の多い時期に使用しますと、内部との気温差により液晶パネル内が曇ることがあります。

●ヘルメットスピーカーまたはワイヤレスヘッドセット等を使用し、ヘルメット内で直接音声を聞く場合、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえず、状況判断の妨げになる可能性があります。周囲の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。
※ 運転中の使用に関しましては、事前に使用する地域の条例等をご確認ください。使用する地域によっては、法令違反となる場合があります。

●電源を分岐して使用している場合や車両のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。

●本製品の GPS 警報は、あらかじめ登録されたオービスや取締ポイント等の GPS データ（位置情報）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。

●本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更された等の理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は必ず、実際の交通規制に従い走行してください。

●G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。

●一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。

●取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがありますが誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。
（自動ドア･防犯センサー･車両通過計測器･気象用レーダーの一部･航空用レーダーの一部）

●一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波が受信できない場合があります。

●部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。

●環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を行なっています。

●本製品の故障による代替品の貸出は一切行なっておりません。

●本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

●本製品は DC12V 車専用です。（DC6V/24V 車へのお取付けはできません）

●キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両の場合は、車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ず USB シガープラグコードを抜いてください。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事ができます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。

・最後に電源を切ってから 72 時間（3 日）以上経過した場合。
・最後に電源を切った場所から 300km 以上離れた場所で電源を入れた場合。
・最後に電源を切った時と、次に電源を入れた時の GPS 衛星の状態が異なる場合。

● 準天頂衛星「みちびき」（QZSS）

本製品は、準天頂衛星「みちびき」に対応しています。「みちびき」からの測位信号を受信することにより、通常のGPS測位より山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確に測位できるようになりました。

※ 準天頂衛星システムは、3 機以上の衛星が稼働することで常に「みちびき」からの測位信号を受信できる状態になります。現在は 1 機のみの稼働のため、「みちびき」からの測位信号を受信できない時間帯があります。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）している時やナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない場所へ本製品を取付けてください。

ご使用上の注意

● ディスプレイについて

・液晶ディスプレイは非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約− 10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると、元の状態に戻ります。
※ 上記の状態でディスプレイに表示されていない場合でも、その他の機能は正常に作動します。

● 本製品の使用周波数について

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の生産ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるかまたは機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きた時には、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：株式会社デイトナ　フリーダイヤル：0120-60-4955

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

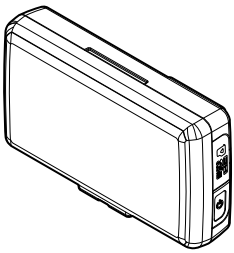
● 本製品の防水性能について

本製品は防水性能を備えています。下記の点にご注意いただき、ご使用ください。

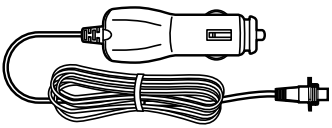
・本製品は JIS 保護等級 IPX7 相当の防水性能があります。
※ 本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。
・付属品は防水仕様ではありません。
・イヤホンジャックおよび USB 電源ジャック、microSD カードスロットのカバーにホコリやゴミ等の異物を挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水し、故障の原因となります。
・雨天時や濡れた手でイヤホンジャックおよび USB 電源ジャック、microSD カードスロットのカバーの開け閉めを行わないでください。本体内に浸水し、故障の原因となります。
・イヤホンジャックおよび USB 電源ジャック、microSD カードスロットのカバーはゴム製のため劣化します。防水性能を維持するために数年に一度交換することをおすすめします。（有料）

梱包内容

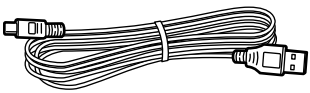
MOTO GPS RADAR LCD 本体（1 個）



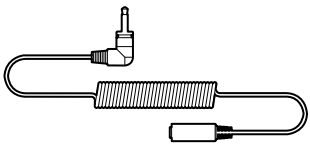
USB シガープラグコード（1 個）
（約 2m/1A ヒューズ内蔵）



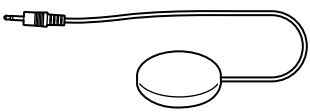
USB ケーブル（1 本）
（約 0.6m）



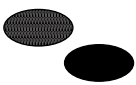
延長カールコード（1 本）
（最短：約 0.4 m / 最長：約 1m）



ヘルメットスピーカー（1 本）
（約 0.2m）



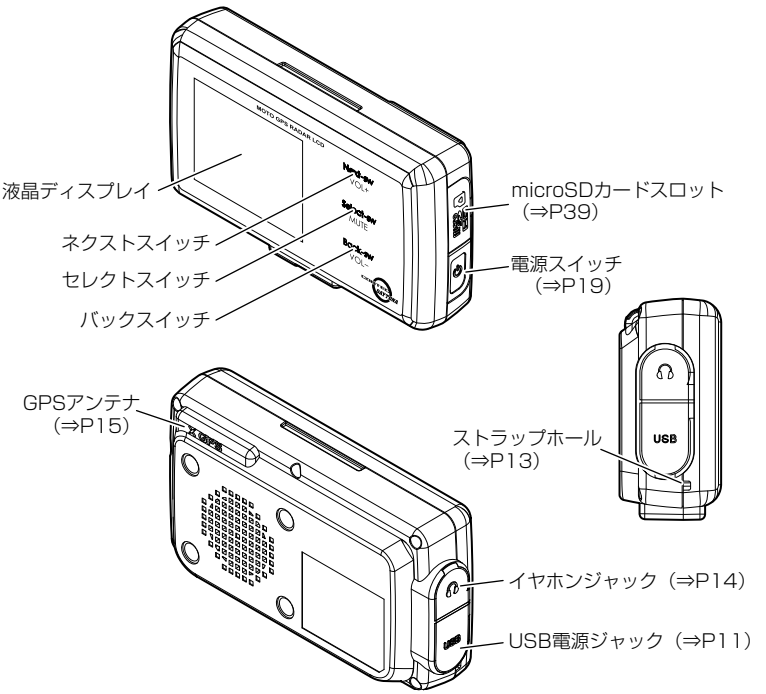
ヘルメットスピーカー固定用
面ファスナー（1 セット）



※ 本製品に取付けステーは付属していません。別売オプションの各種ステーを使用することで、簡単に取付けができます。（⇒ P18）
※ 本製品に microSD カードは付属していません。GPS データ更新を行う際は、市販の microSD カードまたは microSDHC カード（容量：16GB 以下）をご用意ください。（⇒ P38）
※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

各部の名称

レーダー本体



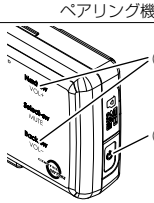
アドバイス

雨天走行時などの注意点
イヤホンジャックおよびUSB電源ジャック、microSDカードスロットのカバーは必ず閉じて使用してください。

本体スイッチ操作一覧

項目	スイッチ操作				備考
	電源スイッチ	ネクストスイッチ	セレクトスイッチ	バックスイッチ	
電源 ON 電源 OFF	長押し	—	—	—	—
音量アップ	—	短押し	—	—	—
ダウン	—	—	—	短押し	—
テストモード機能	—	—	長押し	長押し	待機画面表示中に同時長押し
ミュート機能	—	—	短押し	—	警報中のみ
待機画面表示（A エリア）切替	—	長押し	—	—	待機画面表示中
待機画面表示（B エリア）切替	—	—	—	長押し	待機画面表示中
液晶表示 ON/OFF 切替	—	長押し	—	長押し	待機画面表示中に同時長押し
マップコード表示機能	—	長押し	長押し	—	待機画面表示中に同時長押し
走行エリアの設定	—	—	短押し	—	待機画面表示中
ユーザーポイントの登録	—	—	短押し	短押し	待機画面表示中に同時短押し
解除					ユーザーポイント警報中に操作
誤警報地点の登録	—	長押し	—	—	レーダー警報中に操作
解除					キャンセルミュート中に操作
オービスポイントのキャンセル登録	—	長押し	—	—	オービス警報中に操作
キャンセル解除					キャンセルミュート中に操作
無線警報のキャンセル登録	—	長押し	—	—	無線警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
ディスプレイモードの設定	—	—	長押し	—	オープニング表示中に長押し
解除					ディスプレイモード中に長押し
オールリセット	—	短押し	—	短押し	オープニング表示中に同時短押し
バッテリーチェック	短押し	—	—	—	バッテリー動作中に操作
設定モードに入る	—	—	長押し	—	待機画面表示中
設定モードでの操作（⇒ P44）					
決定	—	短押し	—	—	—
戻る	—	—	—	短押し	メインメニューで押すことにより待機画面に戻る
項目選択	—	—	短押し	—	—

ペアリングモードの操作（⇒ P26）

ペアリングモードに入る	ペアリング機器の解除を行う
	

※ ペアリングモードの操作は、電源 OFF の状態から行なってください。

ご使用の前に

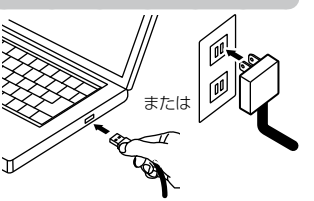
ご使用前に必ず**十分な充電**を行ってください。

※ USB シガープラグコードを接続した状態で使用する場合はそのままご使用ください。

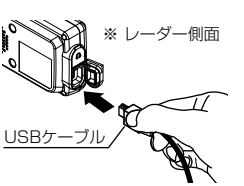
- 本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーは、特性上約 300 回程度は繰り返し充電が可能ですが、それ以降は徐々に性能が低下するため、駆動時間が通常の半分程度になった場合はバッテリーを交換する必要があります。
- 本製品は防水設計されているため、お客様での内蔵バッテリーの交換はできません。交換する際は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。
- 高温の場所で使用・充電しないでください。また、長時間高温・直射日光にさらされる場所への設置は避けてください。その場合は、取り外して保管してください。
- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされており、長時間充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時や内蔵バッテリーが消耗した時は、十分に充電を行なってください。（約 5 時間で満充電になります）
  ※ 車両で充電する場合は、バッテリーあがりを防ぐため、エンジンをかけた状態での充電をおすすめします。
- 本製品に内蔵しているバッテリーは長期間使用しないと自然放電します。バッテリーを長持ちさせるために 3 ヶ月に 1 度、補充電を行なってください。
- 本製品のバッテリー駆動時間は、満充電の状態で約 4 ～ 8 時間です。（使用状況により異なります）
- 本製品に搭載している GPS 受信機能は、従来のレーダー探知機に比べ、より多くの電力を必要とするため、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。

家庭用電源で充電する

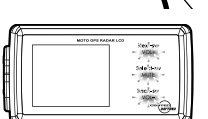
1. 別売の USB/AC アダプター（⇒P18）やパソコンの USB ポートに、付属の USB ケーブルを接続します。
   ※ 市販のUSB/ACアダプターを使用する際は、出力：DC 5V、1A 以下のものをご使用ください。



2. レーダー本体の USB 電源ジャックに USB ケーブルを差込み、充電を行ってください。
   ※ USB ケーブルを差込むと電源が ON になります。電源スイッチを長押しして、電源を OFF にした状態で充電を行ってください。

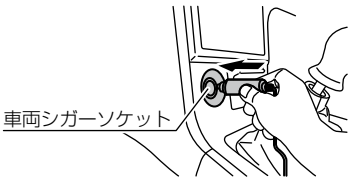


3. レーダー本体の電源を OFF にした状態で充電を行うと、スイッチ部 LED が点滅します。LED 消灯で充電完了です。

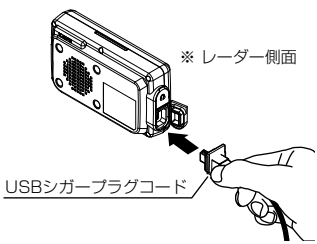


車両で充電する

1. 車両シガーソケットに付属の USB シガープラグコードを差し込みます。



2. レーダー本体の USB 電源ジャックに付属の USB シガープラグコードを差し込みます。



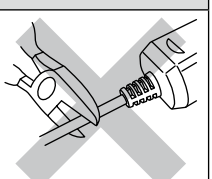
3. 車両のエンジンを始動した状態で充電を行なってください。

アドバイス

内蔵バッテリー電圧が極端に低下した場合は、レーダー本体の電源を OFF にした状態で充電を行なってください。

⚠ 警告

- **USB シガープラグコードは、必ず付属の物を車両シガーソケットに差込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。**
- **他の製品を接続しないでください。故障の原因となる恐れがあります。**
- **USB シガープラグコードは防水仕様ではありません。**



⚠ 注意

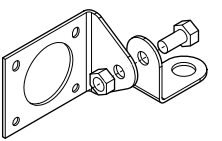
車両の電圧が 6V または 24V の場合は使用できません。必ず 12V であることを確認してから接続してください。

取付方法

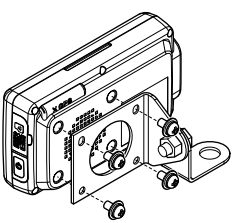
バイクに取付ける OP

- 別売のバイク用ステー（⇒ P18）を使用することで、バイクに取付けることができます。
- 運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- 道路に対して垂直、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

1. バイク用ステーを組み立てます。

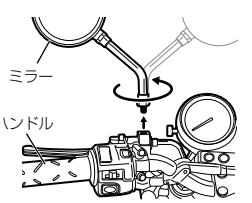


2. レーダー本体裏面にバイク用ステーを取付けます。



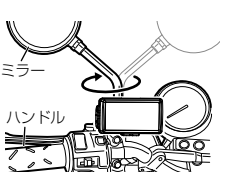
3. バイクのミラーを取外します。

※一部の車種では、ミラー取付けネジが逆ネジになっています。ネジの回転方向にご注意ください。



4. バイク用ステーをミラーでハンドルに固定します。

※レーダー本体後部が、進行方向を向くように固定してください。



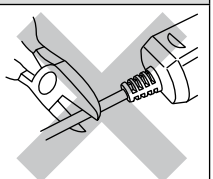
5. シガーソケットを装備している場合は USB シガープラグコードを接続して使用してください。
シガーソケットが無い場合は、内蔵バッテリーで使用してください。

アドバイス

・雨天走行時などは、イヤホンジャックおよび USB 電源ジャック、microSD カードスロットのカバーは必ず閉じて使用してください。
・車種によってはバイク用ステーが使用できない場合があります。面ファスナーで車体へ貼付ける等、工夫して取付けてください。

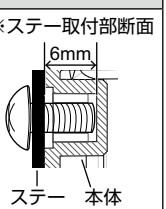
⚠ 警告

・USB シガープラグコードは、必ず付属の物を車両シガーソケットに差込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。
・他の製品を接続しないでください。故障の原因となる恐れがあります。
・USB シガープラグコードは防水仕様ではありません。

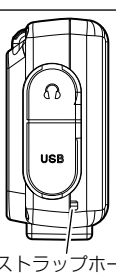


⚠ 注意

・バイク用ステーと本体を固定するネジは、オプションのステーに付属するものをご使用ください。市販のネジを使用する場合は、M4 サイズで本体差込長さが 6mm 以下のものをご使用ください。本体差込長さが6mmを超えるネジは絶対に使用しないでください。ケースが破損し、防水性能が損なわれるばかりでなく、内部基板を破損する恐れがあります。



・落下防止のため市販のストラップ等で落下防止を行うことをおすすめします。



取付方法

レーダー本体をポケットに入れて使用する

本製品はバッテリーを内蔵しているため、ポケット等に入れて使用することができます。

⚠ 注意

- **服の装飾品やプロテクターの材質、種類等により GPS やレーダー波、無線の受信感度が低下する場合があります。またワイヤレスヘッドセットの送受信距離が短くなる場合があります。**
- **クルマに乗って使用する場合、ポケットにレーダー本体を入れているとルーフに遮られ、GPS が受信できない場合があります。**

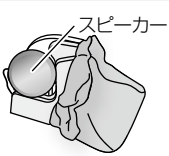
ヘルメットスピーカーを使用する

付属のヘルメットスピーカーを使用することで、ヘルメットをかぶったままでも本製品の音声を聞くことができます。

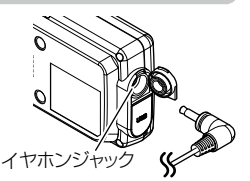
1. ヘルメットの保護パットを取外し、ヘルメットをかぶった時に耳の位置にくるように、ヘルメットスピーカーを付属の面ファスナーで固定します。

アドバイス

内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組込むことで、より違和感が少なくなる場合があります。



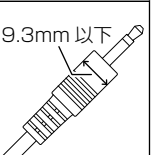
2. レーダー本体側面のカバーを開け、イヤホンジャックにヘルメットスピーカーのプラグを接続します。



⚠ 注意

- **スピーカーケーブルと延長カールコードの接続ジャックは防水仕様ではありません。**
- **ケーブルが短い場合、市販のモノラル延長ケーブル等をお買い求めください。**

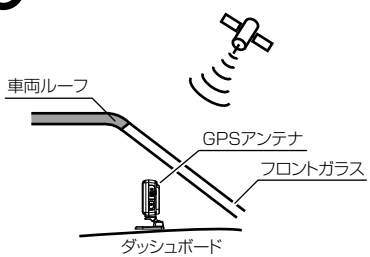
※モノラルプラグ最外径が 9.3mm 以下の物をご使用ください。
※市販のケーブルを使用する場合、雨天走行時にはケーブルを取外し、必ずカバーを閉じてください。故障の原因となります。



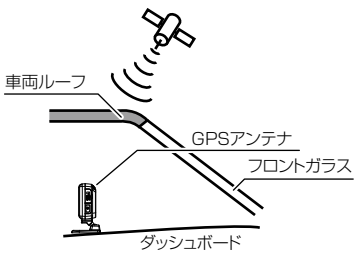
クルマに取付ける OP

- 別売のクルマ用ステー（⇒ P18）を使用することで、クルマに取付けて使用できます。
- 運転や視界の妨げにならず、エアバッグ等の影響がない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。
- 道路に対して垂直、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

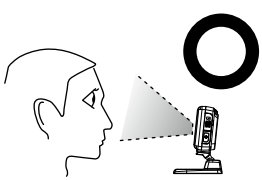
○ 障害物がないので電波の受信ができる



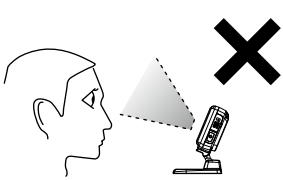
× 車両ルーフによって電波が受信できない



- レーダー本体の取付ける場所、角度によって液晶の特性上、ディスプレイが見えにくくなる場合があります。ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるようにレーダーを取付けてください。



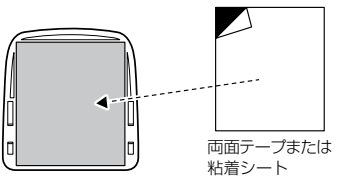
●見やすい取付け
ディスプレイの角度が視界の正面の取付け



●見にくい取付け
ディスプレイの角度が視界の正面よりずれている取付け

取付方法

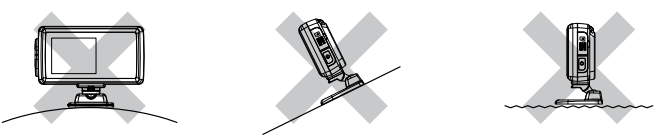
1. ステーに両面テープまたは粘着シートを貼付けます。



⚠ 粘着シート使用上の注意

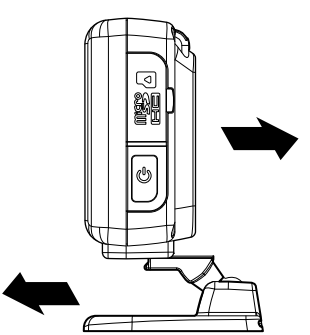
- **粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。**
- **粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。**

①取付面が平坦な場所ではない。　②取付面が傾斜になっている。　③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。

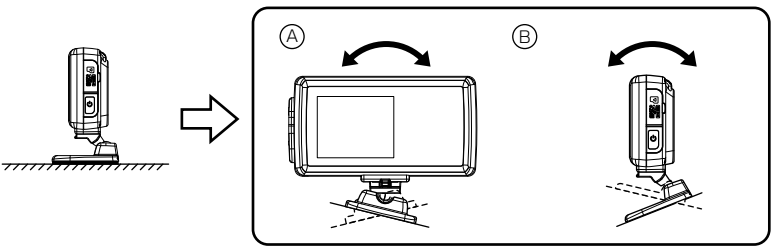


- **ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。**

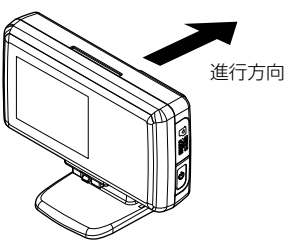
2. レーダー本体底面のステー取付け穴にステーを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドします。



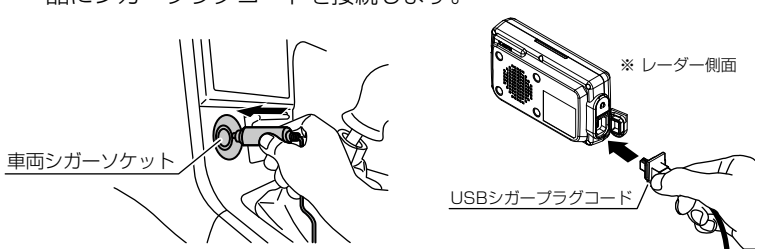
3. 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。レーダー本体が地面と垂直になるようⒶ、Ⓑのように角度を調整します。



4. レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように調整します。



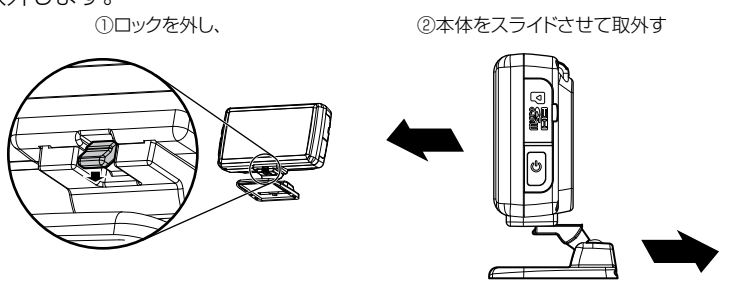
5. 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込み、次に本製品にシガープラグコードを接続します。



取付方法

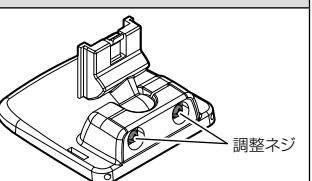
レーダー本体を取外す

ステー取付部のロックを外しながら、レーダー本体をスライドさせて取外します。



⚠ 注意

長い間使用するとステーのジョイントがゆるみ、本体が傾くことがあります。
その場合には、本体からステーを外し、調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しづつ締めてください。
調整ネジを締めた後は、本体を元の位置に戻してください。



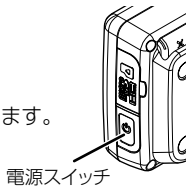
別売オプションおよび補修品

クルマ用ステー	クルマに取付けることができるステーのセットです。	品番：78181 ￥1,470（税込）
バイク用ステー	バイクのM10タイプのミラーに取付けできるステーです。ステーと取付けビス（4本）付属。	品番：78180 ￥1,470（税込）
USB/ACアダプター	家庭用100Ｖ電源にて付属のＵＳＢケーブルを接続し充電する際に使用します。	品番：74066 ￥1,890（税込）
ヘルメットスピーカー（有線）	有線タイプのシングルスピーカーです。	補修品番：78178 ￥1,575（税込）
延長カールコード	ヘルメットスピーカーとレーダー本体を接続します。	補修品番：78179 ￥998（税込）
USBシガープラグコード	車両（12V）より電源を供給する際に使用します。（ケーブル長：約2.0m）	補修品番：78177 ￥1,890（税込）
USBケーブル	パソコンのUSBポートやACアダプターと接続し、バッテリー充電の際に使用します	補修品番：74065 ￥735（税込）

電源を ON にする

1. 本体の【電源スイッチ】を**長押し**することで、
電源を入れることができます。

※ 車両と USB シガープラグコードを接続している場合、
キーを ON にすることで自動的に電源を入れることができます。



2. オープニング画面を確認します。

※ 液晶表示を OFF に設定（⇒ P28）していても
オープニング画面は表示されます。

※ オープニングの効果音は設定（⇒ P55）で
OFF にすることもできます。

3. GPS 衛星の受信アナウンスとアイコン表示を確認します。
数秒～数分かかる場合があります。

※お知らせ機能（⇒ P56）を ON に設定していると、受信アナウンスを行います。
製品出荷時は OFF に設定されています。

GPS 衛星の受信状態	アイコン表示	受信アナウンス ※お知らせ機能（⇒ P56）を ON に設定時のみ
受信時		「ピンポン♪ 衛星を受信しました。」
準天頂衛星「みちびき」受信時		—
未受信時		「チャラン♪ 衛星を受信できません。」

※ 準天頂衛星「みちびき」（⇒ P5）受信時はアイコン表示のみとなります。アナウンスは行いません。

アドバイス

GPS の補完機能

本製品は GPS の補完機能として『G システム』を搭載しています。走行中に GPS 衛星の受信ができなくなった場合、G システムによって自車位置の検出を行います。G システム作動時は GPS アイコン表示部に、右記アイコンが表示されます。

Gシステム作動時

※ G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

基本操作

電源を OFF にする

本体の【電源スイッチ】を**長押し**することで、電源を切ることができます。

※ データ更新 / ペアリングモード中は、【電源スイッチ】の操作は無効になります。

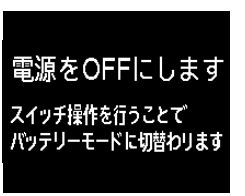
内蔵バッテリーで使用する

本製品はリチウムポリマー電池を内蔵しているため、シガープラグコードを接続しなくても使用できます。

※ 内蔵バッテリーで使用する際は事前に充電を行なってください（⇒ P10 ～ 11）

12V 接続モードからバッテリー動作モードへの切替

シガープラグコード接続した状態で使用時、車両のキーを OFF した場合や 12V 入力が途切れた際に、作動切替画面が表示されます。



本体のいずれかのスイッチを短押しすることでバッテリー動作モードに切替え継続動作します。

※ バッテリー動作モードは、電池消費を減らすため液晶表示を OFF にし、おまかせ設定（BAT）（⇒ P42）で設定されている内容で動作します。

・何も操作を行なわず 10 秒間経過した場合は、電源 OFF します。

アドバイス

液晶表示について

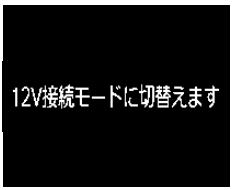
バッテリー動作モード中に【ネクストスイッチ】と【バックスイッチ】を**同時長押し**すると液晶表示を ON できます。（⇒ P28）ただし、液晶表示 OFF の時に比べ、動作時間は短くなります。

キー OFF 時の動作

キーを OFF にしてもシガーソケットの電源が 0V にならない車両は、キーを OFF しても作動切替画面が表示されません。車両バッテリーを保護するため、USB シガープラグコードを抜くか、【電源スイッチ】を**長押し**して本体の電源を OFF にしてください。

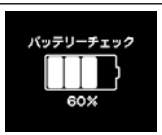
バッテリー動作モードから 12V 接続モードへの切替

バッテリー動作モード中に 12V 接続を行うと、
再起動後に 12V 接続モードで動作します。



充電状態を確認する

バッテリー動作モード中に、本体の【電源スイッチ】を短押しすることで内蔵バッテリーの残量を確認できます。

アナウンス	表示画面	アナウンス	表示画面
効果音 バッテリーは 充分です。		効果音 バッテリーは 40%です。	
効果音 バッテリーは 60%です。		効果音 バッテリーは 20%です。	

アドバイス

ワイヤレスヘッドセット等と接続した状態でも、充電状態のアナウンスはレーダー本体からお知らせします。

バッテリーチェックアナウンス

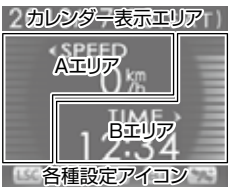
バッテリー動作モードで使用中に、内蔵バッテリーの充電量が低下した際は、アナウンスでお知らせします。

アナウンス	機能	内蔵バッテリー状態
効果音　バッテリーチェック GPS 機能を停止します。	GPS 受信機能を停止	バッテリー残量 20%以下
効果音　バッテリーチェック 充電を行なってください。	全受信機能を停止	バッテリー残量不足

基本操作

ディスプレイ表示

待機画面表示例



A エリア、B エリアの表示内容は、お好みに合わせて変更することができます。(⇒ P29)

※ ドライブ info、パワーチェック info ではカレンダー表示エリアと A エリア、B エリアが切替わります。

A エリア /B エリア表示例

A エリア：速度表示
B エリア：時計表示

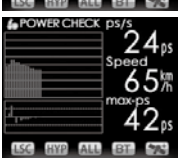
A エリア：走行距離表示
B エリア：速度表示

A エリア：GPS 情報表示
B エリア：バッテリー電圧表示※

ドライブ info（⇒ P30）

A エリア：標高表示
B エリア：運転時間表示

パワーチェック info（⇒ P31）



※ バッテリー電圧はレーダー本体の内蔵バッテリーの電圧が表示されます。

アイコンについて

待機画面表示時には以下のアイコンが表示されます。

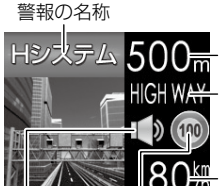
	アイコン	表示内容	参照ページ
①	LSC LSC	LSC 機能の作動状態を表示	⇒ P53
②	LO HI S-HI HYP	レーダーの受信感度を表示	⇒ P52
③	ALL CTY HWY	走行エリアの設定を表示	⇒ P37
④	BT BT	Bluetooth 接続状態を表示	⇒ P27
⑤		GPS 衛星の受信 / 未受信を表示	⇒ P19
		準天頂衛星「みちびき」を受信時に表示	⇒ P5 ⇒ P19
	G	G システムの作動状態を表示 ※走行中に GPS 未受信の場合のみ表示	⇒ P19
		駐車監視エリアを表示	⇒ P71

アドバイス

G システム（⇒ P19）のみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

警報画面例

● GPS 警報



●レーダー、ステルス、無線警報

基本操作

ディスプレイの明るさを変える

昼間と夜間のディスプレイの明るさを任意で 3 段階に切替えできます。

1. 待機画面で【セレクトスイッチ】を**長押し**し、メインメニュー画面を表示させます。

2. 【セレクトスイッチ】で [機能設定] を選択し、【ネクストスイッチ】を短押しします。

3. [明るさ（昼）] または [明るさ（夜）] が表示されるまで【セレクトスイッチ】を短押しします。

4. 【ネクストスイッチ】を押して、【暗】【中】【明】の 3 段階で調整します。

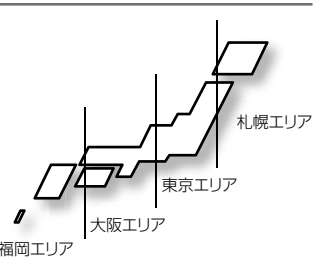
5. 【バックスイッチ】を 2 回押して待機画面に戻ります。

アドバイス

・設定画面の明るさを目安に調整を行ってください。
・[明るさ(夜)] に項目を切替えると、バックライトの明るさも連動してオートディマー時の明るさに切替わります。

オートディマー機能

・本製品は時刻によって、バックライトの明るさを自動的に調整するオートディマー機能を採用しています。
・各エリアを中心に時季（2 ～ 4 月 /5 ～ 7 月 /8 ～ 10 月 /11 ～ 1 月）の日の出と日の入り時刻の統計を基にオートディマー作動時刻を決めています。



アドバイス

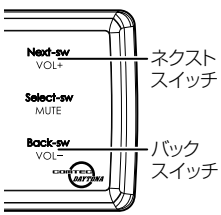
・オートディマー機能は設定で OFF に設定することができます。(⇒ P50)
・OFF に設定すると常に [明るさ（昼）] で設定した明るさで表示されます。

音量を調整する

- ディスプレイを確認しながら、9 段階（無音含む）の音量調整ができます。
- お買い上げ時は、音量が【5】に設定されています。

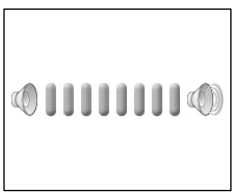
①待機画面中に

②【ネクストスイッチ】を押す



②【バックスイッチ】を押す

③音量が大きくなります。



③音量が小さくなります。
※音量を最小にすると消音になります。

テスト機能を使用する

・本製品がどのような音量で警報するかを確認できる機能です。
・待機画面中に【セレクトスイッチ】と【バックスイッチ】を**同時長押し**すると、レーダー本体から警報時のテスト音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m 以下）してから約 10 秒後、またはレーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。
一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

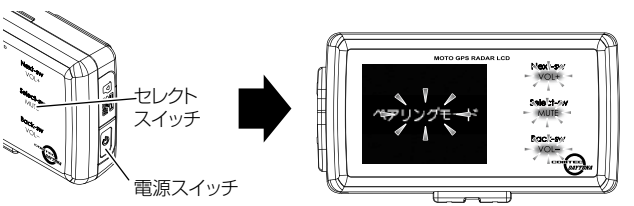
便利な機能

ワイヤレスヘッドセットと接続する

本製品は HFP プロファイルに対応した Bluetooth（ブルートゥース）搭載ヘッドセットとペアリングすることで警報等の音声を聞くことができます。

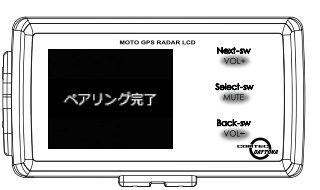
1. ヘッドセットをペアリングモードにします。
   ※ ペアリングモードにするにはお使いのヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

2. 本製品をペアリングモードにします。
   【セレクトスイッチ】を押しながら【電源スイッチ】を**長押し**して電源を入れると、スイッチ部 LED とディスプレイの文字が点滅を始め、ヘッドセットの検索を行います。



※ ペアリングモードは約 1 分で終了します。

3. 登録が完了すると、ディスプレイに［ペアリング完了］と表示され、スイッチ部 LED が点灯します。



ペアリングに失敗した場合は、ディスプレイに［ペアリング失敗］と表示され、スイッチ部 LED が消灯します。

4. ペアリングモードが終了すると、再起動後に待機画面が表示されます。
ヘッドセットとの接続状態は、アイコンにて確認することができます。
※ ペアリングに失敗した場合は、最初から再度操作を行なってください。

アイコン位置	接続状態	表示アイコン
アイコン	接続中	BT
	非接続	BT

アドバイス

ヘッドセットの自動接続
一度ヘッドセットを登録すると、次にレーダー本体の電源を入れた時に登録したヘッドセットを自動で検索・接続を行います。
※ ヘッドセットの電源を入れた後にレーダーの電源を入れると、比較的短時間で接続が可能です。

ヘッドセットの接続解除方法
本製品の【ネクストスイッチ】と【バックスイッチ】を押しながら【電源スイッチ】を**長押し**して電源を入れると、ヘッドセットとの接続を解除することができます。
※ 接続解除を行うと、ペアリングされた機器の情報がすべて消去されます。
ヘッドセットを使用する際は、再度ペアリング操作を行なってください。

⚠ 注意

- **2 台以上同時にヘッドセットを接続することはできません。また周囲にその他の Bluetooth を搭載した製品があると、正常に接続できない場合があります。**
- **ヘッドセット接続時は、警報アナウンス、テスト機能、セーフティドライブサポート、お知らせ機能の音声がヘッドセットから出力されます。本体操作音や設定変更時の音声案内等はヘッドセットからは出力されません。**
  ※ 警報中に行った操作（ユーザーポイント解除など）は、ヘッドセット・本体の両方から出力します。
- **接続するヘッドセットの機種によっては正常に接続できないことや、ミュージックプレイヤー等と A2DP で接続している場合に、警報音が正常に割込みできない、音楽に戻らないという場合があります。あらかじめご了承ください。**
- **オービス警報は約 1km 手前よりオービスを通過するまで継続して警報を行うため、警報アナウンス後の無音の状態であっても通信状態を保持しています。そのため、オービスを通過するまではヘッドセットに接続したその他の Bluetooth 機器への接続復帰は行いません。**

便利な機能

待機画面の液晶表示パターンを切替える

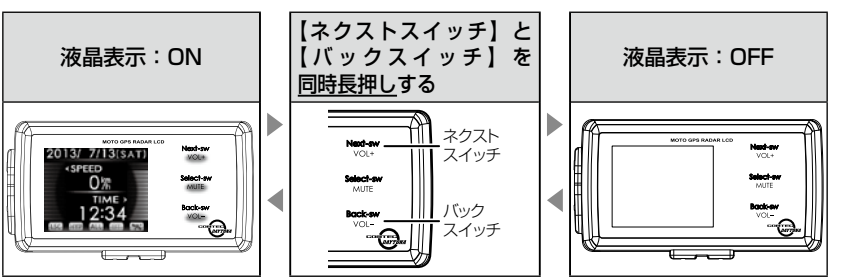
本体の【ネクストスイッチ】と【バックスイッチ】を**同時長押し**するたびに、液晶表示の ON / OFF を切替えることができます。
お買い上げ時の初期設定は下記のとおりです。

- 12V 接続モード …… 液晶表示 ON
- バッテリー動作モード … 液晶表示 OFF

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

設定方法



アドバイス

・液晶表示の ON/OFF に連動して LED も ON/OFF が切替わります。
・液晶表示を OFF にしていても、警報時および操作時は画面表示を行います。
・液晶表示 OFF 時は、【セレクトスイッチ】を押すことで約 15 秒間画面が表示されます。
・設定メニュー表示中、マップコード表示中や警報中は液晶表示パターンを切替えることはできません。

待機画面の表示内容を選ぶ

本体の【ネクストスイッチ】を押し続けると、A エリアの表示内容、
【バックスイッチ】を押し続けると、B エリアの表示内容が下記の順番で
切替わります。

※ドライブ info、パワーチェック info は、カレンダー表示エリアと A エリア、B エリアが切替わり、1 画面で 1 項目表示になります。

← 左回り　A エリアの切替わり順番（ネクストスイッチ操作）
⇨ 右回り　B エリアの切替わり順番（バックスイッチ操作）

速度 ⇆ 時計 ⇆ GPS 情報 ⇆ バッテリー電圧※ ⇆ 標高

A エリア初期設定　B エリア初期設定

⇩↑

⇩↑

ドライブ info ⇆ パワーチェック info ⇆ 走行距離 ⇆ 運転時間

※バッテリー電圧はレーダー本体内蔵バッテリーの電圧が表示されます

アドバイス

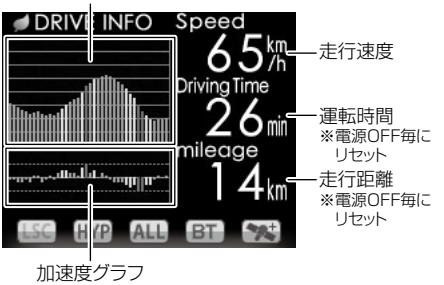
- 標高表示は、衛星の位置等に**大きく影響され**、停車中でも衛星の移動等で表示が変わる場合があります。
- カレンダー表示、時計表示は GPS データを利用するため、日付・時刻の設定はありません。
- スピード表示は時速 10km/h 以下の場合、正確な表示がされない場合があります。
- スピード表示は GPS データによって算出しています。車両のスピードメーターと本製品の表示速度が異なる場合があります。車両により 100km/h で一定走行時に 10km/h 程度の誤差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
- 走行距離は GPS データによって算出しています。そのため実際の走行距離と異なる場合があります。
- 走行距離表示は GPS 受信時のみ加算されます。トンネル内など、GPS が受信できない状態では走行距離は加算されません。

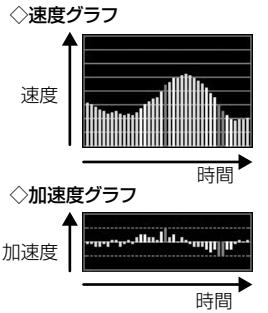
ドライブ info 機能

GPS のデータから運転時間・走行距離を表示し、速度の変化をグラフで表示します。

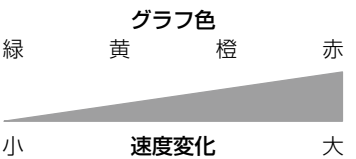
1. 待機画面中に本体の【ネクストスイッチ】または【バックスイッチ】を**長押し**し、待機画面をドライブ info 画面に変更する。（⇒ P29）

2. 走行時の情報が画面に表示されます。





◇グラフの色は速度変化・加速度変化の大きさを表わしています。



アドバイス

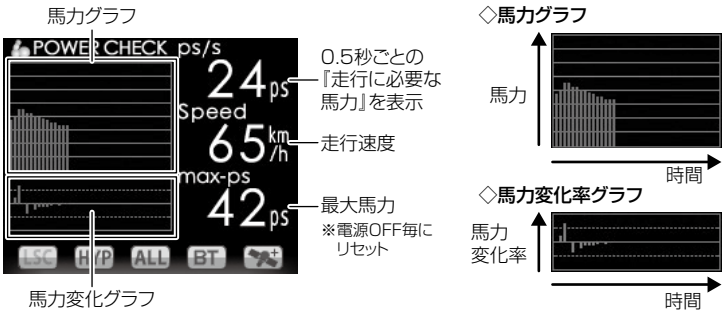
・グラフの色をグリーンやイエローに揃えるように走行する（急な加速・減速を行わない）ことで、安全運転の目安になります。
・走行距離は GPS データによって算出しています。そのため実際の走行距離と異なる場合があります。
・走行距離表示は GPS 受信時のみ加算されます。トンネル内など、GPS が受信できない状態では走行距離は加算されません。

パワーチェック info 機能

GPS のデータと設定した車両重量（⇒ P56）から、0.5 秒ごとの『走行に必要な馬力』･走行速度･最大馬力を表示し、馬力の変化をグラフで表示します。

1. 待機画面中に本体の【ネクストスイッチ】または【バックスイッチ】を**長押し**し、待機画面をパワーチェック info 画面に変更する。（⇒ P29）

2. 車両の馬力等の情報が画面に表示されます。



アドバイス

- クルマ用の機能のため、バイクで使用した場合は正しい馬力は表示できません。
- 0.5 秒ごとの走行に必要な馬力を表示しているため、車両カタログ表記の馬力とは異なります。
  ※ 例：80km/h で走行し続けるために必要な馬力や、0.5 秒間に 5km/h 加速するのに必要な馬力を表示しています。
- 停車している場合、表示は 0ps と表示されます。
- 走行中にトンネルなどに入り GPS 受信が途切れた場合は、最大馬力以外は表示されません。トンネルを抜けるなど再度 GPS を受信した場合は、GPS 受信から約 5 秒後に走行に必要な馬力、走行速度が表示されます。

ユーザーポイントを登録する

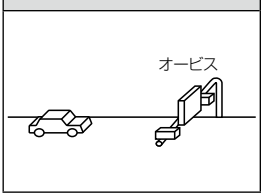
未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

⚠ 注意

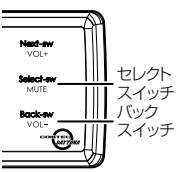
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

登録方法

①登録したい地点を走行し、警報をしていないときに



②【セレクトスイッチ】と【バックスイッチ】を同時短押しする



③「チャラーン♪ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

登録時の走行エリアの設定	警報条件
オールモード	一般 / 高速道共通のポイントとして登録し、オール / ハイウェイ / シティモード設定時に警報します。
シティモード	一般道路上のポイントとして登録し、オール / シティモード設定時に警報します。
ハイウェイモード	高速道路上のポイントとして登録し、オール / ハイウェイモード設定時に警報します。

アドバイス

ユーザーポイント解除方法

登録したポイントの警報中に再度上記操作を行うと、「チャラーン♪ ユーザーポイント解除しました」とアナウンスされ登録が解除されます。

ユーザーポイントの登録ができない場合

- GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
- 警報中は登録することができません。
- 一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「チャラン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
- ユーザーポイントを 100 件を超えて登録しようとした場合、「チャラン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

警報をキャンセルする

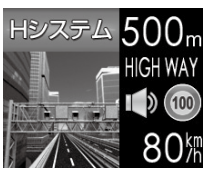
警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 注意

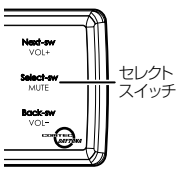
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

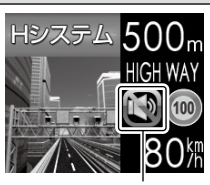
①各種警報中に



②【セレクトスイッチ】を短押しする



③「ピッ」とブザー音が鳴り、ミュートアイコンが表示されます。



アドバイス

- ミュートアイコンが表示されている間は、警報しません。
- ミュート中に再度【セレクトスイッチ】を押す、または待機画面に戻るとミュート状態は解除されます。
- 誤警報の登録地点（⇒ P34）、オービスポイントのキャンセル地点（⇒ P35）、ASC 機能（⇒ P52）および LSC 機能（⇒ P53）作動中にもミュートアイコンが表示されます。

便利な機能

誤警報地点を登録する

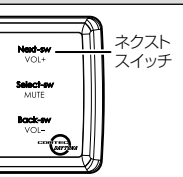
・自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 200m 内のレーダー警報を消音します。
・最大登録件数は、50 件です。

⚠ 注意

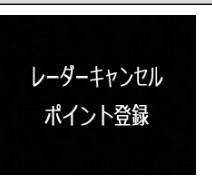
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

①レーダー警報中に

②【ネクストスイッチ】を長押しする



③「チャラーン♪レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



アドバイス

レーダーキャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中(ミュートマーク表示中)に再度上記操作を行うと、「チャラーン♪ レーダーキャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ登録が解除されます。

登録ができない場合

・レーダー(ステルス含む)受信中でも GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
・一度登録した場所(登録場所から半径約 200m)に再度、登録しようとした場合、「チャララン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
・レーダーキャンセルポイントを 50 件を超えて登録しようとした場合、「チャララン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

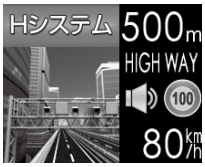
オービスポイントをキャンセル登録する

・GPS データに登録してあるオービスポイントや N システムポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
・最大登録件数は、30 件です。
・同時にレーダー波もキャンセルされます。

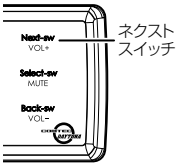
⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

①オービス警報中に



②【ネクストスイッチ】を長押しする



③「チャラーン♪警報キャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

アドバイス

警報キャンセルポイント解除方法

警報キャンセル動作中 (ミュートマーク表示中) に、再度上記操作を行うと「チャラーン♪ 警報キャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ登録が解除されます。

登録ができない場合

警報キャンセルポイントを 30 件を超えて登録しようとした場合、「チャラン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

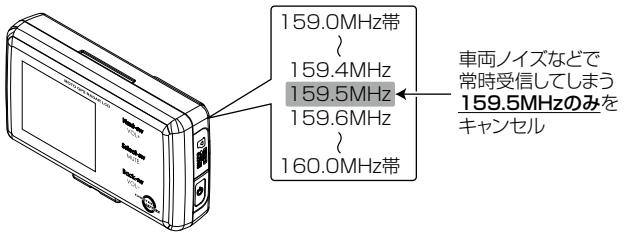
便利な機能

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定 (登録) できません。

(例) デジタル無線の場合

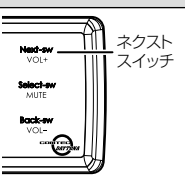


※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

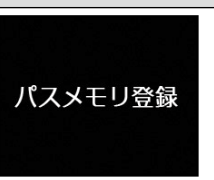
・無線設定（⇒ P48）で OFF に設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

①無線警報中に

②【ネクストスイッチ】を長押しする



③「チャラーン♪パスメモリを登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



アドバイス

無線キャンセル登録解除方法

レーダー本体をオールリセットすると登録を解除することができます。ただし、その他の設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。(⇒ P85)

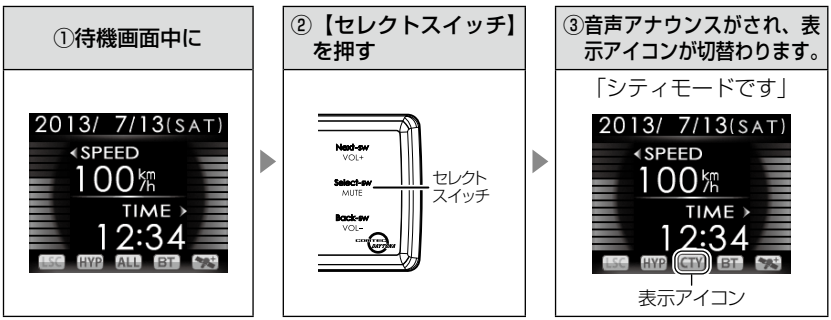
登録ができない場合

「チャラン♪ 登録できません」とアナウンスされます。

走行エリアを選ぶ

GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。

設定方法



・【セレクトスイッチ】を押す毎に設定が切替わります。
・下記表を参照し、走行条件に合わせた走行エリアの設定をしてください。

設定		表示アイコン	GPS 警報を行う道路	モード確認アナウンスする速度の目安※
ALL	オールモード	ALL	一般道路／高速道路	–
CTY	シティモード	CTY	一般道路のみ	80km/h 以上
HWY	ハイウェイモード	HWY	高速道路のみ	5km/h 以下
AT	オートモード	オールモード、シティモード、ハイウェイモードを自動で切替える		–

※ シティモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

⚠ 注意

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS のデータを基に、「オールモード」、「シティモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。そのため、下記のような場合、実際の走行道路と設定が異なり、GPS 警報を行わない事があります。
・高速道路走行中に渋滞等により低速走行をしている場合。
・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
・一般道路と高速道路が並行している場合。

便利な機能

GPS データを更新する

- 本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は、最新バージョンへの更新ができます。
- 調査地点以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。
  ※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更・中止される場合があります。

パソコンからダウンロードする

◆必要な物
・パソコン（対応 OS:Windows）
・市販の microSD カードまたは microSDHC カード（容量：16GB 以下）
  ※ 一部の microSD カードまたは microSDHC カードで、レーダー本体のアップデートが正常に行えない場合があります。
・データを書込むためのメモリーカードリーダライタ

①ワンクリック DL App を使用する
コムテックホームページ（http://www.e-comtec.co.jp）よりダウンロードできる『ワンクリック DL App』をインストールすることで、カンタンに GPS データをダウンロードし、microSD カードに書き込むことができます。

② microSD カードに直接書き込む
セキュリティ等により、新たにアプリケーションをインストールできない場合や、『ワンクリック DL App』で GPS のデータがダウンロードできない場合は、コムテックホームページより直接 GPS データをダウンロードし、microSD カードに書き込んでください。

アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテックサービスセンターまでお送りください。

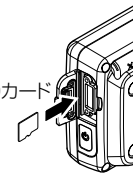
※お預かりでのデータ更新に関しましては **有料** となります。あらかじめご了承ください。
〒 470-0206
住所　愛知県みよし市莇生町下石田 60 番
電話　0561-36-5654
株式会社　コムテック　サービスセンター　データ更新係　迄

レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをダウンロードした microSD カードをレーダー本体に読み込ませることで、GPS データの更新ができます。

1. 本体の microSD カードスロットカバーを開け、microSD カードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

※ 必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してから microSD カードを差し込んでください。

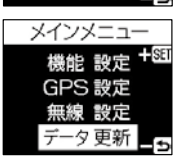


2. USB シガープラグコードまたは USB ケーブルを接続（⇒ P11）して、レーダー本体の電源を入れます。

※ GPS データが microSD カードに保存されている場合、電源を入れると操作 **5.** から表示されます。
ただし、本体の GPS データと microSD カード内の GPS データのバージョンが同じ場合は、更新画面に移行せずに通常通り起動します。

3. 待機画面で【セレクトスイッチ】を**長押し**し、メインメニュー画面を表示させます。

4. 【セレクトスイッチ】で [データ更新] を選択し、【ネクストスイッチ】を短押しします。

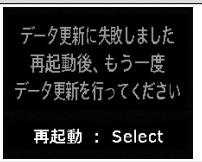
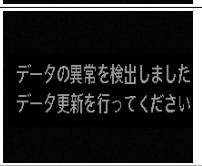
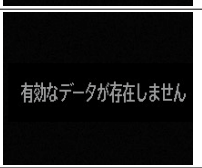
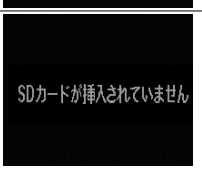
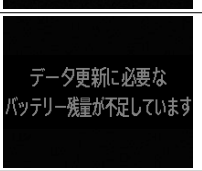


5. 現在の GPS データの情報が表示されるので、【ネクストスイッチ】を押してデータ更新を開始します。

6. 更新が完了したら【セレクトスイッチ】を短押しし、再起動を行います。正常に起動すれば完了です。

※ データ更新が終了したら microSD カードを抜いてください。差し込んだ状態だとカバーが閉まりません。

便利な機能

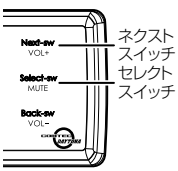
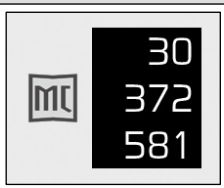
表示画面	エラー	対処方法
	アップデートに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。正常にアップデートされるまで本製品は再起動後もデータ更新メニューから切替わりません。	再度、GPS データのアップデートを行ってください。
	電源起動時、または再起動時に GPS データが異常とエラーメッセージが表示された場合、本製品はデータ更新メニューから切替わりません。	再度、GPS データのアップデートを行ってください。
	「有効なデータが存在しません」と表示される。	再度、パソコンから GPS データを microSD カードにコピーしてください。
	「SD カードが挿入されていません」と表示される。	microSD カードの挿入を確認してください。
	「データ更新に必要なバッテリー残量が不足しています」と表示される。	USB シガープラグコードを接続するか、充電後にデータ更新を行なってください。

⚠ 注意

- microSDカードを抜き差しする場合は、必ずレーダー本体の電源をOFFにしてください。
- microSD カードを無理に抜き差しすると、microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
- microSD カード以外のものを挿入すると、microSD カードスロットや、レーダー本体が破損することがあります。
- アップデート中は、microSD カードを抜いたり、電源スイッチを切ったりしないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
  ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行ってください。
- レーダー本体と microSD カードの相性によりレーダー本体のアップデートが正常に行えない場合があります。

現在位置をマップコードで表示する

マップコード表示方法

①待機画面中に	②【ネクストスイッチ】と【セレクトスイッチ】を同時長押しする	③現在位置のマップコードが表示されます。
		

・待機画面に戻すには、【バックスイッチ】を押してください。
　自動で待機画面には戻りません。
・マップコードを表示したまま場所を移動しても、表示は更新されません。

アドバイス

マップコードの表示ができない場合
・GPS 衛星を受信していないとマップコードは表示されません。
・警報中は表示することができません。

⚠ 注意

- **運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。**
- **マップコード表示中は警報を行いません。**
- **マップコード表示中は設定を変更することはできません。設定を変更したい場合は、表示を待機画面に戻してから変更を行ってください。**
- **GPS の受信状況や、マップコードでの場所の特定が約 30m 四方（標準マップコード）までのため、GPS の測位誤差を含めて 30 ～ 100m 程マップコードを表示させた地点と地図上との誤差がでることがあります。あらかじめご了承ください。**
- **マップコードは場所により桁数の違いがあります。最大 10 桁（標準マップコード）まで表示します。**

便利な機能

おまかせ設定

GPS 警報および無線警報を 4 つのモードから一括で簡単に設定できる機能です。12V 接続時とバッテリー動作時それぞれに設定できます。

設定方法

1. 待機画面で【セレクトスイッチ】を**長押し**し、メニュー画面を表示させます。

2. [機能設定] を選択し、【ネクストスイッチ】を短押します。

3. [おまかせ（12V）] または [おまかせ（BAT）] が表示されるまで【セレクトスイッチ】を短押しします。

4. 【ネクストスイッチ】を押して、【おまかせ 1】【おまかせ 2】【オールオン】【マニュアル】の中から選択します。

- **【おまかせモード 1・2】**必要最低限の機能を使いたい方におすすめ
- **【オールオンモード】**.....すべての機能を使いたい方におすすめ
- **【マニュアルモード】**.....お好みの機能をそれぞれ設定して使いたい方におすすめ

5. 【バックスイッチ】を 2 回短押しして待機画面に戻ります。

アドバイス

- お買い上げ時、おまかせ設定はどちらも【マニュアルモード】に設定されており、おまかせ（12V）の設定内容はオールオンモード、おまかせ（BAT）の設定内容はおまかせモード 1 と同様の設定内容です。お好みで設定を変更することができます。
- おまかせモード 1、おまかせモード 2、オールオンモードの設定中は『GPS 設定』および『無線設定』の設定を変更することは**できません**。
- 全てのモードで『機能設定』の設定を変更することができます。
- セーフモードの設定を『ALL-ON』に設定している場合、セーフティウィーク期間中はオールオンモードになります。(⇒ P57)

設定内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">機　能</th><th>おまかせ
モード1</th><th>おまかせ
モード2</th><th>オールオン
モード</th><th>マニュアル
モード</th></tr>
<tr><td rowspan="24">GPS設定</td><td>Wオービス</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>距離：500m</td><td rowspan="26">GPS 設定、無線設定をお好みで変更することができます。
お買い上げ時、オールリセット時はマニュアルモードに設定されます。
GPS 設定、無線設定の内容は下記になります。
・おまかせ（12V）… オールオンモードの内容
・おまかせ（BAT）… おまかせモード 1 の内容</td></tr>
<tr><td>取締ポイント</td><td rowspan="3">ON</td><td rowspan="11">ON</td><td rowspan="25">ON</td></tr>
<tr><td>白バイ警戒エリア</td></tr>
<tr><td>駐車監視エリア</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td>信号無視取締機ポイント</td><td rowspan="2">ON</td></tr>
<tr><td>過積載取締機ポイント</td></tr>
<tr><td>警察署エリア</td><td rowspan="17">OFF</td></tr>
<tr><td>交番エリア</td></tr>
<tr><td>高速道路交通警察隊エリア</td></tr>
<tr><td>事故ポイント</td></tr>
<tr><td>Nシステム</td></tr>
<tr><td>SA/PA/HO</td><td rowspan="14">OFF</td></tr>
<tr><td>道の駅ポイント</td></tr>
<tr><td>急カーブポイント</td></tr>
<tr><td>トンネルポイント</td></tr>
<tr><td>県境ポイント</td></tr>
<tr><td>分岐合流ポイント</td></tr>
<tr><td>逆走お知らせポイント</td></tr>
<tr><td>消防署エリア</td></tr>
<tr><td>スクールエリア</td></tr>
<tr><td>踏切ポイント</td></tr>
<tr><td rowspan="24">無線設定</td><td>カーロケ</td><td rowspan="5">HI</td><td rowspan="7">HI</td><td rowspan="24">HI</td></tr>
<tr><td>350.1MHz</td></tr>
<tr><td>デジタル</td></tr>
<tr><td>取締特小</td></tr>
<tr><td>署活系</td><td rowspan="18">OFF</td></tr>
<tr><td>ワイド</td></tr>
<tr><td>警察 / 消防ヘリテレ</td><td rowspan="17">OFF</td></tr>
<tr><td>レッカー</td></tr>
<tr><td>新救急</td></tr>
<tr><td>消防</td></tr>
<tr><td>高速管理車両</td></tr>
<tr><td>警察活動</td></tr>
<tr><td>警備</td></tr>
<tr><td>タクシー</td></tr>
<tr><td>パトロールエリア設定</td><td>ON</td><td>ON</td><td>ON</td></tr>
</table>

設定操作

設定方法

マニュアルモード選択時（⇒ P43）に全ての機能をそれぞれ設定することができます。おまかせモード 1、おまかせモード 2、オールオンモードでは、GPS 機能および無線警報の設定はできません。（『チャララン♪ マニュアルモードにしてください』とエラー音が鳴ります）

※ 何もスイッチを押さないと約 30 秒後、自動的に待機画面に戻ります。
（そのとき、途中までスイッチで選択した設定は保存されます）

例：N システムの設定を【OFF】に設定変更するには・・・

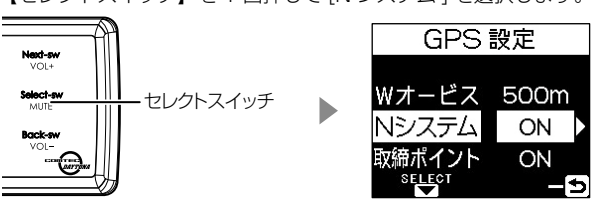
1. 待機画面中に【セレクトスイッチ】を**長押し**し、メインメニューを開きます。

2. 【セレクトスイッチ】を短押してメニュー項目を選択し、【ネクストスイッチ】を短押しして決定します。

例：【セレクトスイッチ】を 1 回押して［GPS 設定］を選択し、【ネクストスイッチ】を短押しして決定します。

3. 【セレクトスイッチ】を短押して設定変更する項目を選択します。

例：【セレクトスイッチ】を 1 回押して [N システム] を選択します。

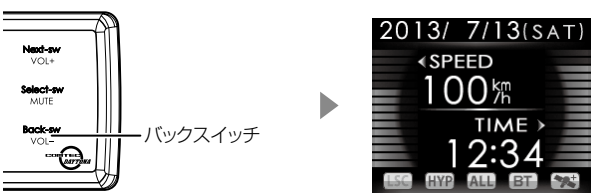


4. 【ネクストスイッチ】を短押しし、設定を変更します。

例：【ネクストスイッチ】を 1 回押して [OFF] を選択します。

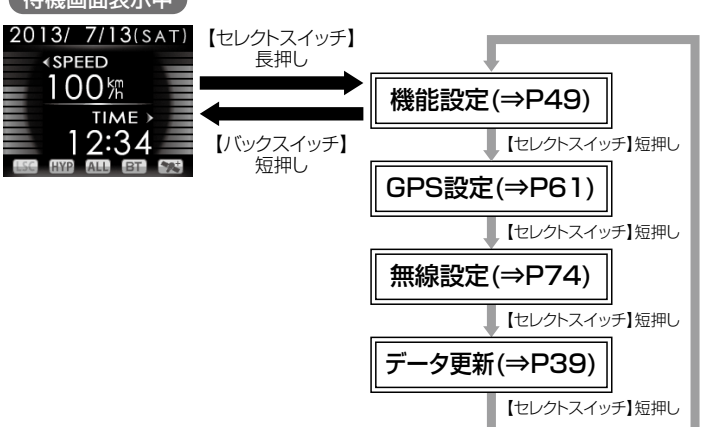
5. 【バックスイッチ】を 2 回押して待機画面に戻ります。

・続けて別項目を設定することもできます。



設定内容一覧

メインメニュー



設定操作

機能設定一覧

設定項目		内容（ネクストスイッチで選択）
セレクトスイッチで項目を選択	文字カラー設定（⇒ P50）	**【ホワイト】**／ブルー／オレンジ／グリーン／レッド
	オービス警報表示設定（⇒ P49）	**【スタンダード】**／ライティングナビ
	明るさ設定昼間（⇒ P24）	**【明】**／中／暗
	明るさ設定夜間（⇒ P24）	**【明】**／中／暗
	ディマー設定（⇒ P50）	**【ON】**／ OFF
	おまかせ設定 12V（⇒ P42）※ 1	**【マニュアル】**／おまかせ 1 ／おまかせ 2 ／オールオン
	おまかせ設定 BAT（⇒ P42）※ 1	**【マニュアル】**／おまかせ 1 ／おまかせ 2 ／オールオン
	セーフティドライブサポート設定（⇒ P50）	**【OFF】**／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4
	オービス接近警報設定（⇒ P51）	**【固定】**／速度連動
	ASC 設定（⇒ P52）	**【AUTO】**／ LOW ／ HI ／ S-HI ／ HYPER
	LSC 設定（⇒ P53）	**【ON】**／ ALL-ON ／ OFF
	アラーム設定（⇒ P53）	**【ブザー 1】**／ブザー 2 ／ブザー 3
	エフェクト設定（⇒ P54）	**【OFF】**／エフェクト 1 ／エフェクト 2
	操作音設定（⇒ P55）	**【ON】**／ OFF
	オープニング音設定（⇒ P55）	**【ON】**／ OFF
	お知らせ設定（⇒ P56）	**【OFF】**／ ON
	セーフモード設定（⇒ P57）	**【ON】**／ ALL-ON ／ OFF
	車両重量設定（⇒ P56）	**【小型車】**／中型車／大型車／軽自動車 ※ 2

※ 1 おまかせ／オールオンモードでは、GPS 設定および無線設定の変更はできません。
※ 2 クルマ用の機能のため、バイクの重量は設定できません。
※ **【太字】**は初期設定になります。

GPS 設定一覧

	設定項目	内容（ネクストスイッチで選択）
セレクトスイッチで項目を選択	W オービス設定（⇒ P61）	500m ／ 1000m ／ 1500m ／ OFF
	N システム設定（⇒ P62）	ON ／ OFF
	取締ポイント設定（⇒ P63）	ON ／ OFF
	信号無視取締機設定（⇒ P64）	ON ／ OFF
	過積載取締機設定（⇒ P64）	ON ／ OFF
	白バイ警戒エリア設定（⇒ P65）	ON ／ OFF
	警察署エリア設定（⇒ P65）	ON ／ OFF
	交番エリア設定（⇒ P66）	ON ／ OFF
	高速道路交通警察隊エリア設定（⇒ P66）	ON ／ OFF
	事故ポイント設定（⇒ P67）	ON ／ OFF
	SA/PA/HO 設定（⇒ P67）	ON ／ OFF
	道の駅設定（⇒ P68）	ON ／ OFF
	急カーブ設定（⇒ P68）	ON ／ OFF
	トンネルポイント設定（⇒ P69）	ON ／ OFF
	県境設定（⇒ P69）	ON ／ OFF
	分岐 / 合流設定（⇒ P70）	ON ／ OFF
	駐車監視エリア設定（⇒ P71）	ON ／サイレント（※ 1）／ OFF
	逆走お知らせ設定（⇒ P72）	ON ／ OFF
	消防署エリア設定（⇒ P73）	ON ／ OFF
	スクールエリア設定（⇒ P73）	ON ／ OFF
	踏切ポイント設定（⇒ P71）	ON ／サイレント（※ 1）／ OFF

※ 1 画面表示のみで音声アナウンスは行わない設定です。
※ おまかせ／オールオンモードでは、GPS 設定および無線設定の変更はできません。
※ 12V 接続モードとバッテリー動作モードで初期設定が異なります。（⇒ P43）

設定操作

無線設定一覧

	設定項目	内容（ネクストスイッチで選択）
セレクトスイッチで項目を選択	カーロケ無線設定（⇒ P75）	HI ／ OFF ／ LOW
	350.1MHz 無線設定（⇒ P76）	HI ／ OFF ／ LOW
	デジタル無線設定（⇒ P76）	HI ／ OFF ／ LOW
	署活系無線設定（⇒ P77）	HI ／ OFF ／ LOW
	ワイド無線設定（⇒ P78）	HI ／ OFF ／ LOW
	取締特小無線設定（⇒ P77）	HI ／ OFF ／ LOW
	警察活動無線設定（⇒ P77）	HI ／ OFF ／ LOW
	警察ヘリテレ無線設定（⇒ P79）	HI ／ OFF ／ LOW
	パトロールエリア設定（⇒ P78）	ON ／ OFF
	新救急無線設定（⇒ P80）	HI ／ OFF ／ LOW
	消防ヘリテレ無線設定（⇒ P79）	HI ／ OFF ／ LOW
	消防無線設定（⇒ P80）	HI ／ OFF ／ LOW
	レッカー無線設定（⇒ P80）	HI ／ OFF ／ LOW
	高速管理車両無線設定（⇒ P81）	HI ／ OFF ／ LOW
	警備無線設定（⇒ P81）	HI ／ OFF ／ LOW
	タクシー無線設定（⇒ P81）	HI ／ OFF ／ LOW

※ おまかせ／オールオンモードでは、GPS 設定および無線設定の変更はできません。
※ 12V 接続モードとバッテリー動作モードで初期設定が異なります。（⇒ P43）

機能設定

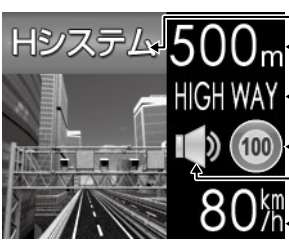
オービス警報表示設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ オービス警報表示 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

- オービスポイントに接近したときの警報画面を【スタンダード】と【ライティングナビ】の 2 種類から選択できます。
- 対象オービスは、レーダー式、ループコイル、LH システム、H システム、ユーザー登録ポイントです。
- お買い上げ時は、【スタンダード】に設定されています。

《スタンダード表示》

- オービス（GPS）警報時に対象オービスを 3D イラストで表示します。



- オービス名称
- オービスまでの距離
- オービスの設置路線を表示
- HIGHWAY/CITY（高速道路 / 一般道路）
- 制限速度/CAUTION表示 ※制限速度情報が無い場合はCAUTIONを表示
- 音のON/OFFを表示
- 自車の走行速度

《ライティングナビゲーション表示》

- オービス（GPS）警報時に対象オービスまでの距離と自車位置を分かりやすく表示します。

- オービス名称
- オービスまでの距離
- オービスの設置路線を表示
- HIGHWAY/CITY（高速道路 / 一般道路）
- 制限速度/CAUTION表示 ※制限速度情報が無い場合はCAUTIONを表示
- 音のON/OFFを表示
- 自車の走行速度
- 軌跡表示 矢印が進行方向を表示し、リアルタイムで移動します。
- オービスまでの距離によって背景色が切替わります。

≪アイコン一覧≫

- L ..... ループコイル
- LH ..... LH システム
- H ..... H システム
- R ..... レーダー式オービス
- U ..... ユーザーポイント

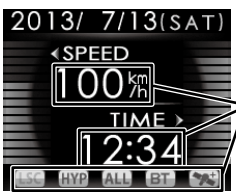
設定項目

文字カラー設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒機能設定⇒【セレクトスイッチ】⇒文字カラー 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

- 文字の色をホワイト／ブルー／オレンジ／グリーン／レッドの 5 色に切替えることができます。
- お買い上げ時は、【ホワイト】に設定されています。

※ 背景色を切替えることはできません。



枠内の文字色が変わります

ディマー設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒機能設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ディマー 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

- オートディマー機能（⇒ P24）の設定を、ON/OFF から選択することができます。
- お買い上げ時は、【ON】に設定されています。
- OFF に設定すると常に [明るさ（昼）]（⇒ P24）で設定した明るさで液晶ディスプレイと LED を表示します。

セーフティドライブサポート設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒機能設定⇒【セレクトスイッチ】⇒セーフティサポート 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

- 急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出すると音声でお知らせする機能です。安全運転の目安にしてください。
- 感度を【1（鈍感）】～【4（敏感）】と【OFF】の 5 段階から選択できます。
- お買い上げ時の感度は、【OFF】に設定されています。

状況	アナウンス内容
左右方向に G（急ハンドル）を検出した場合	急ハンドルを検知しました。ご注意ください。
後方向に G（急加速）を検出した場合	急発進を検知しました。ご注意ください。
前方向に G（急減速）を検出した場合	急ブレーキを検知しました。ご注意ください。

オービス接近警報設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ **機能設定** ⇒【セレクトスイッチ】⇒ **オービス接近警報**

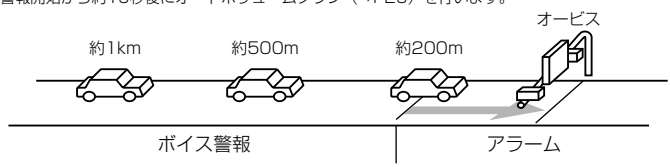
詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

・オービス接近アラームを行う距離を、オービス設置路線の制限速度および自車の走行速度によって切替えることができます。また、常に同じ距離でオービス接近アラームを行うように設定することもできます。

・お買い上げ時は、【固定】に設定されています。

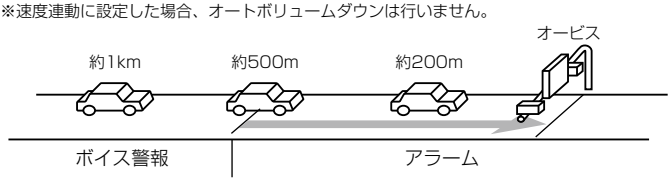
■固定

200m地点からアラームによる警報を行います。
警報開始から約10秒後にオートボリュームダウン（⇒P25）を行います。



■速度連動

500m地点通過時の速度が制限速度を超えていた場合、500m地点からアラーム警報を行います。
制限速度以下の場合は、固定設定と同様200m地点からアラームによる警報を行います。
制限速度情報が登録されていない場合は、一般道路：50km/h、高速道路：80km/hを超えていた場合、500m地点からアラーム警報を行います。
※速度連動に設定した場合、オートボリュームダウンは行いません。



※ ミュート操作を行なった場合はミュートされます。

• 速度連動に設定した場合、以下のように警報を行います。

制限速度情報	道路種類	走行速度	警報開始距離	
			500m 手前	200m 手前
登録あり	高速道路 / 一般道路	制限速度を超える	アラーム	アラーム継続
		制限速度以下	ボイス警報	アラーム
登録なし	高速道路	80km/h を超える	アラーム	アラーム継続
		80km/h 以下	ボイス警報	アラーム
	一般道路	50km/h を超える	アラーム	アラーム継続
		50km/h 以下	ボイス警報	アラーム

設定項目

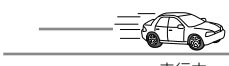
ASC 設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ ASC 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

・ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節する機能です。
・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。

AUTO 設定

低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報を鳴りにくくし、
高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。

車両状態	信号待ち、低速走行時など	 走行中
受信感度	LOW	車速に応じて LOW ⇔ HI ⇔ S-HI ⇔ HYPER と受信感度が変化

機能	内容	走行速度	受信感度
ASC 機能（オート･センシティブ･コントロール）	自車の走行速度に合わせて設定を切替える	30km/h 未満	LOW
		30km/h ～ 60km/h 未満	HI
		60km/h ～ 80km/h 未満	S-HI
		80km/h 以上	HYPER

※ GPS 衛星を受信できない場合は、受信感度が【HYPER】に固定されます。

マニュアル設定

マニュアル設定することで、受信感度を固定することができます。
下記表を参考に、最適な受信感度を設定してください。

受信感度	適切な走行場所	走行状態	表示アイコン
LOW	市街地	低速走行	
HI	郊外地	中速走行	
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	
HYPER	高速道路	高速走行	

LSC 設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ LSC 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

・LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時は、警報音を自動的にカットする機能です。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。【OFF】または【ALL-ON】の 3 設定から選択することができます。

- 【ON】 .....低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をカット
- 【ALL-ON】 ....低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をカット
- 【OFF】 .....走行速度に関係なく警報音を鳴らす

機能	動作内容
LSC 機能 （ロー・スピード・キャンセル）	GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 30km/h 以下の場合、警報音をカットする

LSC マークについて

LSC 機能の作動を 2 段階表示でディスプレイにて確認することができます。

状態	走行状態	表示アイコン	警報
LSC	停車中～ 30km/h	LSC	しない
	30km/h 以上	LSC	する
LSC 機能を OFF または衛星を受信していない時		LSC	する

アラーム設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ アラーム 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

・警報音をブザー 1 ／ブザー 2 ／ブザー 3 のいずれかで鳴らすことができます。
・お買い上げ時は【ブザー 1】に設定されています。

設定項目

エフェクト設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒機能設定⇒【セレクトスイッチ】⇒エフェクト 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

音声アナウンス前後に用いる擬音効果です。下記の設定のように各警報時の効果音と音声アナウンス警報の選択ができます。

アドバイス

通話音声が受信できる無線警報の場合、エフェクトモードの設定に関わらず通話音声が流れます。

	項　目	OFF（初期設定）	エフェクト 1	エフェクト 2
GPS警報	オービス	効果音＋アナウンス	効果音＋アナウンス	効果音＋アナウンス
	ダブルオービス			
	N システム		効果音のみ	アナウンスのみ
	取締ポイント			
	信号無視取締機ポイント			
	過積載取締機ポイント			
	白バイ警戒エリア			
	警察署エリア			
	交番エリア			
	高速道路交通警察隊エリア			
	事故ポイント			
	SA/PA/HO			
	道の駅ポイント			
	急カーブポイント			
	トンネルポイント			
	分岐・合流ポイント			
	駐車監視エリア			
	逆走お知らせポイント			
	消防署エリア			
	スクールエリア			
	踏切ポイント			
	県境ポイント		効果音＋アナウンス	効果音＋アナウンス

	項　目	OFF（初期設定）	エフェクト 1	エフェクト 2
無線警報	カーロケ無線	効果音＋アナウンス	効果音のみ	アナウンスのみ
	350.1 無線			
	デジタル無線			
	署活系無線			
	ワイド無線			
	取締特小無線			
	警察活動無線			
	警察ヘリテレ無線			
	パトロールエリア			
	新救急無線			
	消防ヘリテレ無線			
	消防無線			
	レッカー無線			
	高速管理車両無線			
	警備無線			
	タクシー無線			

操作音設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 操作音

詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

・本体スイッチ操作時の確認音を ON/OFF から選択することができます。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

オープニング音設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ オープニング音

詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

・オープニング効果音の ON/OFF を設定することができます。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

設定項目

お知らせ設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ お知らせ 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

・電源 ON 時のあいさつアナウンスや GPS 受信・未受信時のアナウンス等の ON/OFF を設定することができます。
・お買い上げ時は、【OFF】に設定されています。

◇ ON/OFF されるアナウンス

状態	アナウンス内容
GPS 受信	衛星を受信しました。
GPS 未受信	衛星を受信できません。
起動後、2 時間経過	運転時間が 2 時間になりました。 そろそろ休憩してください。
走行エリアの切替えアナウンス（オートモード設定時）	（ハイウェイ / シティ / オール）モードに切替えます。
あいさつアナウンス	※下記表参照

電源 ON 時のあいさつアナウンスは起動時刻により切替わります。

起動時刻	アナウンス内容
4：00 ～ 9:59	おはようございます。
10:00 ～ 17:59	こんにちは。
18:00 ～ 3:59	こんばんは。

車両重量設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 車両重量 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

車両重量を設定することで、『パワーチェック info』画面で自車のおおよその馬力を表示することができます。
下記表を参考に自車の車両重量に近い設定を選択してください。
※ クルマ用の機能のため、バイク用の設定はありません。

設　定	車両重量の目安
軽自動車	～ 1250kg
小型車	1251 ～ 1750kg
中型車	1751 ～ 2250kg
大型車	2251 ～

セーフモード設定

メインメニュー ⇒【セレクト スイッチ】⇒ 機能設定 ⇒【セレクト スイッチ】⇒ セーフモード 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

セーフティウィーク期間中にセーフモードの設定が ALL-ON の場合は、自動的にオールオンモード設定に切替る設定です。

セーフモード期間中に電源が入ると、音声アナウンスと画面表示します。

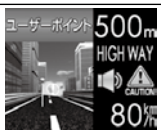
- ALL-ON.....電源が入ると音声アナウンスと画面表示をして、セーフティウィーク期間中は自動的にオールオンモードになります。
- ON.....電源が入ると音声アナウンスと画面表示をします。セーフティウィーク期間中でもマニュアルモードの設定した状態を保持します。
- OFF .....電源が入っても音声アナウンスと画面表示はしません。セーフティウィーク期間中でもおまかせモード又はマニュアルモードの設定した状態を保持します。

セーフティウィーク	期間 (※)	アナウンス / 表示画面
春の交通安全運動期間	4 月 6 日～4 月 15 日 ※統一地方選挙のある年は 5 月 11 日～5 月 20 日に変更となります。	春の交通安全運動期間です。
秋の交通安全運動期間	9 月 21 日～9 月 30 日	秋の交通安全運動期間です。
年末年始取締強化運動期間	12 月 15 日～1 月 5 日	年末年始取締強化運動期間です。

※ 交通安全週間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

設定項目

≪オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の音声アナウンス内容≫

オービス種類	音声アナウンス ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	表示画面
ループコイル LH システム H システム レーダー	約（※ 1）先 （※ 2）[ループコイル /LH システム /H システム / レーダー] があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
ユーザー登録 ポイント	約（※ 1）先 （※ 2）上 ユーザーポイント があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	

※ 1　2 キロ、1 キロ、500m いずれかをアナウンスします。2 キロは高速道路のみアナウンスします。

※ 2　『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。また 500m の警報の場合、カメラ位置の方向（正面・左側・右側）をアナウンスします。

※ 3　アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。

※ 4　2 キロ、1 キロの警報の場合、制限速度または到達時間をアナウンスします。

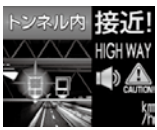
・制限速度データがあり、走行速度が制限速度を超えている場合、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。

・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『到達時間は○○秒以内です』とアナウンスします。

⚠ 注意

- **※ 3 のアナウンスの速度はアナウンスした時の速度であり、ディスプレイ表示される速度は現在の走行している速度のため、アナウンス速度と表示される速度は違う場合があります。**
- **※ 4 の到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。**
- **G システム（⇒ P19）作動時は走行速度と到達時間のアナウンスを行いません。また、走行速度に関わらず制限速度のアナウンスを行います。**

≪トンネル出口警報・トンネル内オービス警報の音声アナウンス内容≫

オービス種類	音声アナウンス ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	表示画面
トンネル出口警報	（※ 1） トンネル出口 （※ 2）があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
トンネル内オービス警報	**≪トンネル手前での警報時≫** （※ 1）トンネル内（※2）があります。時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
	≪ 1 キロでの警報時≫ 約 1 キロ先（※ 1）トンネル内（※ 2）があります。（※ 4）	
	≪ 500m での警報時≫ この先 （※ 1） トンネル内 （※ 2）があります。	

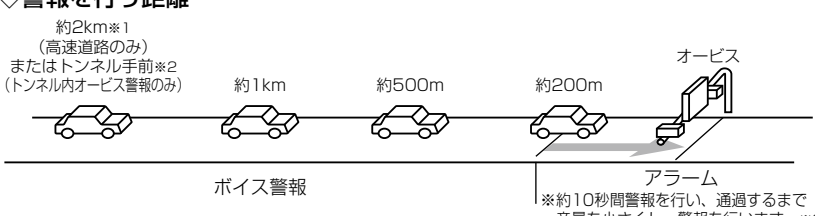
※ 1　『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。
※ 2　取締機の種類をアナウンスします。
※ 3　アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
※ 4　制限速度をアナウンスします。
・制限速度データがある場合、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。
・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『時速は約○○キロ』（トンネル内オービス除く）とアナウンスします。

⚠ 注意

G システム（⇒ P19）のみでは、自車位置を完全に検出することができません。そのため走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇警報を行う距離

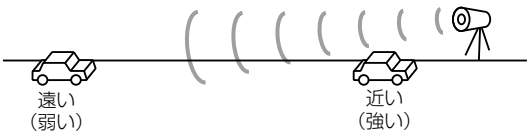


※ 1　警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。
※ 2　トンネル入口から 1km 以上先にオービスがある場合のみ警報します。
※ 3　設定によりオービス接近アラームのタイミングを切替えることができます。（⇒ P51）

設定項目

■レーダー警報のしかた

レーダー式取締機（⇒ P82）に接近した場合、下記のように警報を行います。

<table>
<tr><td colspan="2">レーダー式取締機までの
距離（電波の強さ）</td><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイ表示</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td colspan="2">レベルメーター</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td rowspan="4">アラーム音</td><td rowspan="4">受信感度</td><td>LOW</td><td rowspan="4">アラーム音が鳴らない
※警報表示は行います。
アラーム音が鳴る</td></tr>
<tr><td>HI</td></tr>
<tr><td>S-HI</td></tr>
<tr><td>HYPER</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ステルス波
受信
（⇒ P82）</td><td colspan="2">ディスプレイ
表示</td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">アラーム音</td><td>ピコッピコッピコッ・・・
アラーム音が鳴ります。</td></tr>
</table>

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。
※ 表示される速度は現在の走行している速度です。

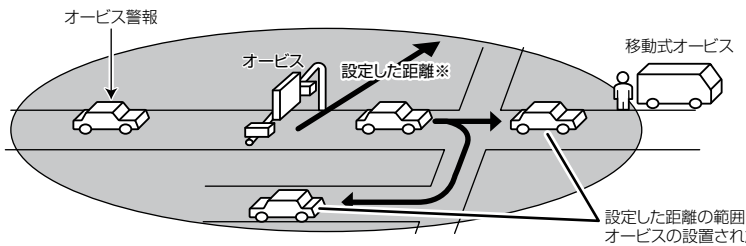
GPS 設定

W オービス設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ W オービス

詳しい設定操作は P44 ～ P45 を参照ください。

W オービスを設定した場合は、一般道路上のオービスポイントを通過後、下図※で設定した距離の範囲内で、オービスの設置された道路の制限速度以上で走行すると、警報アナウンスとディスプレイ表示で警告します。



※ OFF・500m・1km・1.5kmのいずれかに設定します。

アナウンス	表示画面
効果音、この先ダブルオービスにご注意ください。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

⚠ 注意

- **設定した距離の範囲内で信号などにより停止（5km/h 以下）した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。**
- **オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。**
- **オービス通過後、設定範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えればダブルオービスの警報を行います。**

設定項目

N システム /NH システム設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ N システム 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム／ NH システムへの警報は行いません。
※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

アナウンス	表示画面
効果音、この先（ 高速道 一般道 ）N システムがあります。	

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。
※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

⚠ 注意

警報を行う距離は、対象とする N システム／ NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

取締ポイント設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 取締ポイント 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

速度取締りを中心に頻繁に行われているポイントや、過去に検問や取締りの事例があるポイントがあらかじめ本機に登録してあり、取締ポイントに接近すると約 200m ～ 1km の間で注意をお知らせし、ポイントにより離れた時に回避をお知らせします。

- [重点取締り] 取締ポイントが２つ重なっている場合に重点取締ポイントとして警報
- [最重点取締り] 取締ポイントが３つ以上重なっている場合に最重点取締ポイントとして警報

アドバイス

取締ポイントの回避警報は他の警報と重なった場合、他の警報が優先され、回避警報を行わない場合があります。

取締種類	アナウンス	表示画面
取締ポイント	効果音、この先 （高速道 一般道） 取締ポイントがあります。 取締りにご注意ください。	
重点取締ポイント	効果音、この先　一般道 重点取締ポイントがあります。 重点取締りにご注意ください。	
最重点取締ポイント	効果音、この先　一般道 最重点取締ポイントがあります。 最重点取締りにご注意ください。	
回避	効果音、取締ポイントを回避しました。 または 効果音、重点取締ポイントを回避しました。 または 効果音、最重点取締ポイントを回避しました。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

設定項目

信号無視取締機設定

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒信号無視取締機 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

- 信号無視監視機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- 本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先　一般道　信号無視取締機にご注意ください。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。
※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。

過積載取締機設定

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒過積載取締機 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

- 過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- 本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先（高速道/一般道）過積載取締機にご注意ください。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

白バイ警戒エリア設定

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒白バイ警戒エリア 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　白バイ警戒エリアです。	
効果音、この付近　白バイ重点警戒エリアです。 取締りにご注意ください。	

アドバイス

- 白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行なったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。
- 白バイ重点警戒エリアは LSC 機能が【ON】設定の場合でも、警報音がカットされず、警報を行います。
  ※ 白バイ警戒エリアは警報音がカットされます。
  ※ LSC 機能が【ALL ON】設定の場合、白バイ警戒エリア、白バイ重点警戒エリアともに警報音がカットされます。

警察署エリア設定

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒警察署エリア 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されている警察署付近に接近(約 300m)するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　警察署エリアです。	

※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

設定項目

交番エリア設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ 交番エリア 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されている交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　交番エリアです。 取締りにご注意ください。	

※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

高速道路交通警察隊エリア設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ 高速警察隊エリア 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されているの高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　高速道路交通警察隊エリアです。 取締りにご注意ください。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

事故ポイント設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒事故ポイント 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

全国の事故多発ポイントをあらかじめ本機に登録してあり、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

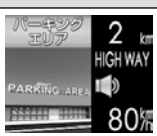
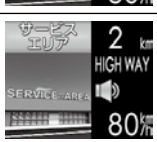
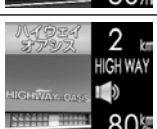
アナウンス	表示画面
効果音、この先（高速道／一般道）事故多発ポイントがあります。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

SA/PA/HO 設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒SA/PA/HO 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報をあらかじめ本機に登録してあり、各ポイントに接近すると、2km 手前でお知らせします。

状況	アナウンス	表示画面
パーキングエリア	効果音、この先　高速道 パーキングエリアがあります。	
サービスエリア	効果音、この先　高速道 サービスエリアがあります。	
ハイウェイオアシス	効果音、この先　高速道 ハイウェイオアシスがあります。	

※ ロードセレクト（⇒ P37）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

設定項目

道の駅設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ 道の駅 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されている道の駅付近に接近（約 1 km）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近、一般道　道の駅があります。	

※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

急カーブ設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ 急カーブ 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道（※ 1）急カーブがあります。	

※　表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。
※　ロードセレクト（⇒ P37）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 1 カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

GPS データに登録されているポイントで警報を行いますが、下記点にご注意ください。
・全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

トンネルポイント設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ トンネルポイント 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道（※ 1）トンネルがあります。	

※　表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。
※　ロードセレクト（⇒ P37）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 1 トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

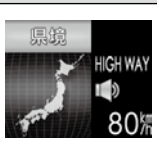
⚠ 注意

GPS データに登録されているポイントで警報を行いますが、下記点にご注意ください。
・全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

県境設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 県境 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

県境付近に接近（高速道路：約 1 km、一般道路 : 約 200m）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、（※ 1）。	

※ 1 都道府県をアナウンスします。

⚠ 注意

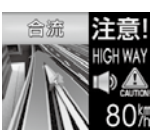
GPS データに登録されているポイントで警報を行いますが、下記点にご注意ください。
・山間部やトンネル内又は出口付近等の GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。
・全ての県境ポイントで警報するわけではありません。
・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

設定項目

分岐 / 合流設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 分岐 / 合流 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

本機に登録されている分岐合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道［ 分岐 / 合流 ］があります。	 

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。
※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。
※ ロードセレクト（⇒ P37）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

⚠ 注意

GPS データに登録されているポイントで警報を行いますが、下記点にご注意ください。
- **全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO・インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**
- **ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。**

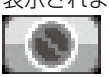
駐車監視エリア設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 駐車監視エリア 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

各警察より発表される「最重点地域」、「重点地域」をもとに、調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、駐車監視エリアです。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。
※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 駐車監視エリア内を走行中は待機画面内の GPS 受信マーク部に「駐禁マーク」が表示されます。



⚠ 注意

GPS データに登録されているポイントで警報を行いますが、下記点にご注意ください。
・全ての監視エリアで警報するわけではありません。
・実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。

踏切ポイント設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ GPS 設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 踏切ポイント 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

本機に登録されている踏切付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　ご注意ください。	

※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。

逆走お知らせ設定

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒逆走お知らせ 詳しい設定操作は P44～P45を参照ください。

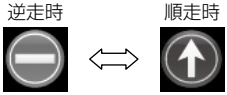
全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や入口から本線に合流しようとすると、お知らせします。

≪出入口が別方向の場合≫

サービスエリア等で停車し、速度が 20km/h 以上でサービスエリア等の入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報画面の表示を続けます。

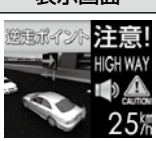
アナウンス	表示画面
効果音、この付近　逆走お知らせエリアです。 出口の方向にご注意ください。	

※ 警報中に、逆方向への走行から順方向への走行になった場合、警報画面の標識イラスト部分が切替わります。



≪出入口が同じ方向の場合≫

サービスエリア等の出入口が同じ方向の場合、サービスエリア等で停車した時に警報を行います。その後発進し、速度が 20km/h 以上になった場合、再度警報を行います。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　逆走お知らせエリアです。 出口の方向にご注意ください。	

⚠ 注意
逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。

※ ロードセレクト（⇒ P37）の設定および LSC の設定（⇒ P53）に関わらず、警報を行います。

消防署エリア設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒消防署エリア 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

本機に登録されている消防署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この付近　消防署エリアです。 緊急車両にご注意ください。	

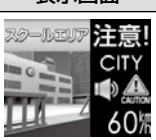
※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。

スクールエリア設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒GPS 設定⇒【セレクトスイッチ】⇒スクールエリア 詳しい設定操作は P44 ～P45 を参照ください。

本機に登録されている小学校、中学校、高校付近を 7:00 ～ 9:00、12:00 ～ 18:00 に接近（約 200m）するとお知らせします。

※ 土曜日、日曜日は警報は行いません。

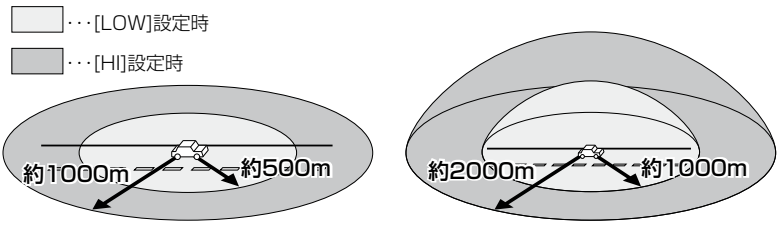
アナウンス	表示画面
効果音、この付近　スクールエリアです。 安全運転を心がけましょう。	

※ ロードセレクト（⇒ P37）がシティモード、オールモードの時のみ有効です。

設定項目

無線設定

- 本製品は、各種無線の受信感度を OFF/LOW/HI に設定することができます。
- 下図の受信感度 (距離) は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、
警察活動、警備、タクシーの各無線

警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

・放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
・使用状況、走行状態、製品取付位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

警報画面について

※ 表示される速度は現在の走行している速度です。

カーロケ無線設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 無線設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ カーロケ 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

緊急車両に装備された GPS 受信機より算出した位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～カーロケ無線を受信しました。	遠い ～ 近い ～ 接近
近い	効果音～カーロケ無線を受信しました。緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～カーロケ無線を受信しました。接近する緊急車両にご注意ください。	
回避	効果音～カーロケ無線を回避しました。	

⚠ 注意

- カー・ロケーター・システムは間欠で送信されるため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。
- 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

設定項目

350.1MHz 無線設定（取締用連絡無線）

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒無線設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒350.1MHz

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

取締用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声（デジタル信号はノイズ）～ 350.1 無線を受信しました。	

デジタル無線設定

メインメニュー⇒【セレクト/スイッチ】⇒無線設定⇒【セレクト/スイッチ】⇒デジタル

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

・各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz 帯～ 160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がデジタル化されており、通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

・デジタル無線受信電波の状況によって、遠近識別警報を行います。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～デジタル無線を 受信しました。	 遠い　～　近い　～　接近
近い	効果音～デジタル無線を 受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～デジタル無線を 受信しました。 接近する緊急車両に ご注意ください。	

署活系無線設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 無線設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 署活系

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス	表示画面
効果音～署活系無線を受信しました。	

取締特小無線設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 無線設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 取締特小

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 取締特小無線を受信しました。	

警察活動無線設定

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 無線設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 警察活動

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～警察活動無線を受信しました。	

設定項目

ワイド無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒ワイド 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～ワイド無線を受信しました。	
近い	効果音～ワイド無線を受信しました。緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～ワイド無線を受信しました。接近する緊急車両にご注意ください。	遠い　～　近い　～　接近

パトロールエリア設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒パトロールエリア 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス	表示画面
効果音～パトロールエリアです。ご注意ください。	

アドバイス

・受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内 2 つ以上の設定が ON になっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
・必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線設定

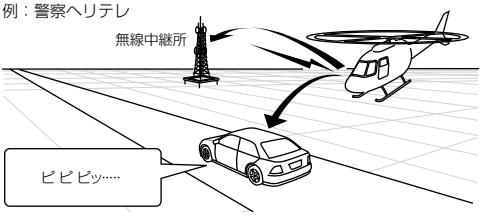
メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 無線設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 警察ヘリテレ

メインメニュー ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 無線設定 ⇒【セレクトスイッチ】⇒ 消防ヘリテレ

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。
また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ



※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。（警察ヘリテレのみ）

受信種類	アナウンス	表示画面
警察ヘリテレ	効果音～通話音声～ 警察ヘリテレ無線を 受信しました。	
消防ヘリテレ	効果音～通話音声～ 消防ヘリテレ無線を 受信しました。	

設定項目

新救急無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒新救急

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 新救急無線を受信しました。	

消防無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒消防

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 消防無線を受信しました。	

レッカー無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒レッカー

詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数のため、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ レッカー無線を受信しました。	

高速管理車両無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒高速管理車両 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 高速管理車両無線を受信しました。	

警備無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒警備 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 警備無線を受信しました。	

タクシー無線設定

メインメニュー⇒【セレクトスイッチ】⇒無線設定⇒【セレクトスイッチ】⇒タクシー 詳しい設定操作は P44 ～P45を参照ください。

各地のタクシー会社が使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ タクシー無線を受信しました。	

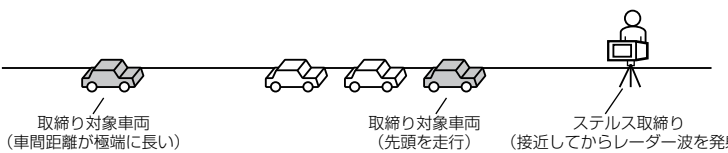
付録

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

● ステルス式取締方法（有人式取締り）

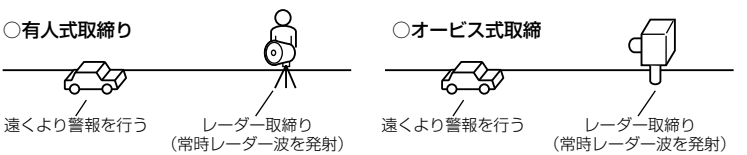
取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m 以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



● レーダー式取締方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も 500m 以上の距離から受信することができます。

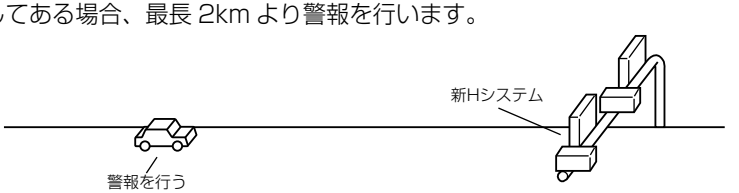
また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● 新 H システム式取締方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。

レーダー波も 500m 前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



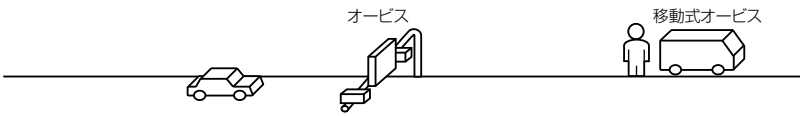
● 移動オービス式／パトカー車載式取締方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m 以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締方法

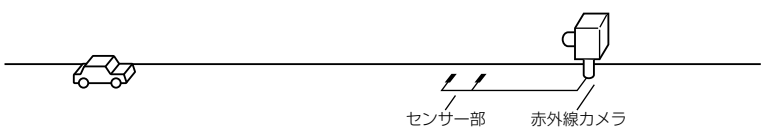
固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

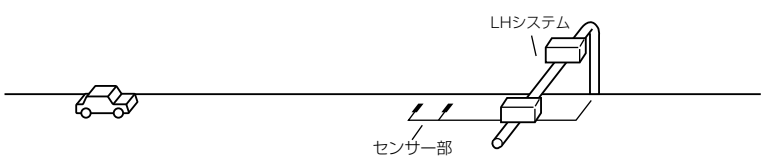
● ループコイル式取締方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● LH システム式取締方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



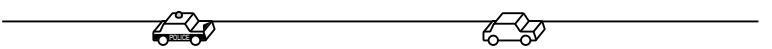
付録

● 光電管式取締方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

● 追尾式取締方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

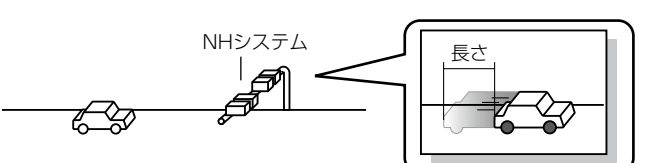


アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）および追尾式取締方法は、レーダー波を発射しないタイプの取締方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒ P63）であれば GPS 警報を行います。）

● NH システム式取締方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



初期状態に戻す（オールリセット）

登録したすべてのデータをリセット（初期化）し、お買い上げ時の状態に戻します。

※ 更新した GPS データは初期化されません。

⚠ 警告

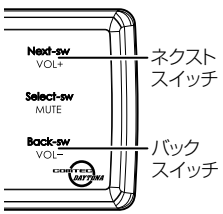
- **消去したデータの復元はできません。**
- **お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。**
- **ディスプレイモード中はオールリセットできません。**

リセット方法

オープニング画面表示中に、レーダー本体の【ネクストスイッチ】と【バックスイッチ】を同時短押ししてください。

①オープニング画面表示中に

②【ネクストスイッチ】と【バックスイッチ】を同時短押しする



③「オールリセットしました」のアナウンスと画面表示されればリセット完了です

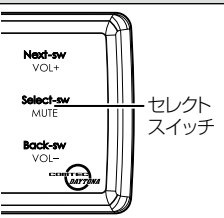
付録

ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

①オープニング画面表示中に

②【セレクトスイッチ】を長押しする



③ディスプレイモードが始まります

※ 再度【セレクトスイッチ】を長押しすると、ディスプレイモードは終了します。

マップコードについて

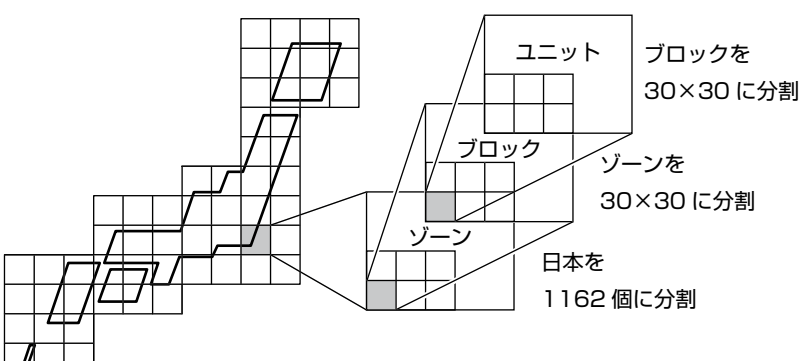
通常位置情報を管理する場合は緯度経度を用いるのが一般的ですが、マップコードは緯度経度に比べ桁数が少ないのでデータ容量を小さくすることができ、覚えやすいのが特徴です。
また、マップコードに対応したカーナビ、WEB サイトやアプリケーションを使用すれば、携帯電話やインターネットを使って場所の特定が簡単にできます。

（例）

① 待ち合わせの時に、自分のいる場所のマップコードを相手に教えれば、相手が携帯電話やインターネット、カーナビを使って簡単に場所を確認できます。
② 旅の途中で立ち寄った場所をマップコードで覚えておいて、後で確認することができます。
③ 住所や電話番号で検索できないような場所（山や川等）でも簡単に目的地設定ができます。

マップコードの構成

マップコードは日本を大まかに分割し（ゾーン）、それをさらに分割したもの（ブロック、ユニット）で構成されています。
このゾーン、ブロック、ユニットの番号を並べた物がマップコードです。



※ マップコードは㈱デンソーの登録商標です。
※ マップコードはマップコード対応のカーナビ、PND、携帯電話のコンテンツでご利用できます。
※ 詳しくはマップコードオフィシャルサイト（http://www.e-mapcode.com/）へ

付録

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	● USB シガープラグコードが抜けかかっていませんか？	10,11 ページ
	●車両シガーソケットを分岐していませんか？	4 ページ
	● USBシガープラグコードを切断して直接DC12Vに配線していませんか？	11 ページ
	●バッテリー動作モードで使用する場合、十分な充電を行いましたか？	10,11 ページ
GPS 衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？	4 ページ
	●レーダー本体は正しく取付けられていますか？	15 ページ
	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	15 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？	25 ページ
	●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	37 ページ
	● LSC 機能が作動していませんか？	53 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	15 ページ
	●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？	59 ページ
	●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？	49,62 ページ
	●各 GPS 警報の設定は OFF になっていませんか？	47 ページ
	●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？	38 ページ
	●誤って警報キャンセルを設定していませんか？	35 ページ
	●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	37 ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？	83,84 ページ
	●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？	34 ページ
	●レーダー受信感度は適正ですか？	52 ページ
無線警報しない場合	●各無線の設定は OFF になっていませんか？	48 ページ
LSC 機能が働かない	● LSC 機能は正しく設定してありますか？	53 ページ
ASC 機能が働かない	● ASC 機能は正しく設定してありますか？	52 ページ
ユーザーポイント、レーダーキャンセルポイント、警報キャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	15 ページ
	●各機能の登録可能件数の上限を超えて登録しようとしていませんか？	32,34,35 ページ
設定したモードにならない GPS / 無線設定ができない	●おまかせ設定がマニュアルモードになっていますか？	42,43 ページ
ディスプレイがまっ黒表示になる	●ディスプレイの動作温度範囲を超えていませんか？	6 ページ
	●液晶表示を OFF にしていませんか？	28 ページ
	●バッテリー動作モードで使用していませんか？	20 ページ
エラー表示が消えない	●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行ってください。	38～40 ページ
速度表示が車両スピードと異なる	●車両スピードメーターは、実際の速度よりも高く表示される傾向があります。	―

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC5V（USB 電源）
最小消費電流	40mA 以下 （バッテリー駆動時：80mA）
最大消費電流	300mA 以下 （バッテリー駆動時：250mA）
受信方式	パラレル 22ch ダブルスーパーヘテロダイン
測位更新時間	最短 0.5 秒
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10℃～ 60℃
本体サイズ	105.3(W)× 57.5(H)× 27.9(D) ／ mm　突起部除く
液晶ディスプレイ表示面積	43.5（W）× 35（H）／ mm 2.2 インチ TFT
重量	135g

受信周波数
- GPS（1575.42MHz）
- X バンド（10.525GHz）
- K バンド（24.200GHz）
- 取締用連絡無線（350.1MHz 帯）
- カー・ロケーター・システム（407MHz 帯）
- デジタル無線（159MHz ～ 160MHz 帯）
- 署活系無線（347MHz、361MHz 帯）
- ワイド無線（336MHz ～ 338MHz 帯）
- 警察ヘリテレ無線（340MHz ～ 372MHz 帯）
- 消防ヘリテレ無線（382MHz ～ 383MHz 帯）
- 取締特小無線（422MHz 帯）
- レッカー無線（154MHz 帯、465MHz ～ 468MHz 帯）
- 新救急無線（371MHz 帯）
- 消防無線（150MHz 帯、466MHz 帯）
- 高速管理車両無線（383MHz 帯）
- 警察活動無線（162MHz 帯）
- 警備無線（468MHz 帯）
- タクシー無線（458MHz ～ 459MHz 帯、467MHz 帯）

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

Bluetooth 送信部

プロファイル	HFP
バージョン	2.1+EDR
送信出力	クラスⅡ
認証コード	0000
機器名称	MOTO GPS RADAR LCD

さくいん

1/A
350.1MHz 設定……76
ASC 機能 ……52
GPS ……5
GPS データを更新 ……38～40
LSC 機能 ……53
N システム /NH システム設定 ……62
SA/PA/HO 設定……67

あ
アラーム機能……53
エフェクト機能……54
オートディマー機能……24
オートボリュームダウン機能……25
オービス警報……58
オービス接近警報設定……51
オープニング音設定……55
オールオンモード……43
オールリセット……85
お知らせ機能設定……56
おまかせ設定……42
おまかせモード……43
音量調整……25

か
カーロケ無線設定……75
各部の名称……7～8
過積載取締機ポイント設定……64
逆走お知らせ設定……72
急カーブポイント設定……68
急発進……51
急ハンドル……51
急ブレーキ……51
警察活動無線設定……77
警察署エリア設定……65
警察ヘリテレ無線設定……79
警備無線設定……81
警報キャンセルポイント登録 / 解除……35
県境設定……69
高速管理車両無線設定……81
高速道路交通警察隊エリア……66
交番エリア設定……66
故障かな？と思ったら ……88
梱包内容……9

さ
事故ポイント設定……67
車両重量設定……56
充電……10～11
充電状態を確認する……21
準天頂衛星「みちびき」……5
消防署エリア設定……73
消防ヘリテレ無線設定……79
消防無線設定……80
署活系無線設定……77
白バイ警戒エリア設定……65
新救急無線設定……80
信号無視取締機ポイント設定……64
スクールエリア設定……73
ステルス式取締方法……82
ステルス波受信……60
製品仕様……89
セーフティドライブサポート設定……50
セーフモード設定……57
設定内容一覧……45～48
走行エリア……37
操作音の設定……55

た
待機画面の表示内容……29
タクシー無線設定……81
ダブルオービス設定……61
駐車監視エリア設定……71
ディスプレイの明るさ……24
ディスプレイ表示……22～23
ディスプレイモード……86
ディマー設定……50
データ更新……38～40
データリセット……85
デジタル無線設定……76
テスト機能……25
ドライブ info 機能 ……30
取締特小無線設定……77
取締ポイント設定……63
取締用連絡無線……76
取付け……12～13, 15～18
トンネルポイント設定……69

な
内蔵バッテリーで使用する……20

は
パスメモリ……36
バッテリーチェックアナウンス……21
パトロールエリア設定……78
パワーチェック info 機能 ……31
踏切ポイント設定……71
分岐合流設定……70
ヘルメットスピーカー……14

ま
マップコード……41
マップコードについて……87
マニュアルモード……43
道の駅設定……68
ミュート……33
無線キャンセル登録 / 解除……36
無線の受信感度……74
文字カラー切替え機能……50
ユーザー登録ポイント警報……58
ユーザーポイント登録 / 解除……32

ら
ライティングナビゲーション……49
レーダーキャンセルポイント登録 / 解除……34
レーダー警報……60
レッカー無線設定……80
ワイド無線設定……78
ワイヤレスヘッドセットと接続する……26

メモ

お問い合わせ

製品のお取り扱い方法、修理等に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または、お客様相談窓口にご相談ください。

お客様相談窓口 ***0120-60-4955***

デイトナ商品についてのご質問、ご意見をフリーダイヤルで受け付けております。

株式会社 デイトナ

〒 437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805

ホームページ　http://www.daytona.co.jp

D716031L